

令和2年度

企業局の概要



宮城県企業局

表 紙

左上：南部山浄水場（白石市）（水道用水供給事業）

右上：大槻浄水場（仙台市）（工業用水道事業）

左下：仙台港（仙台市）（地域整備事業）

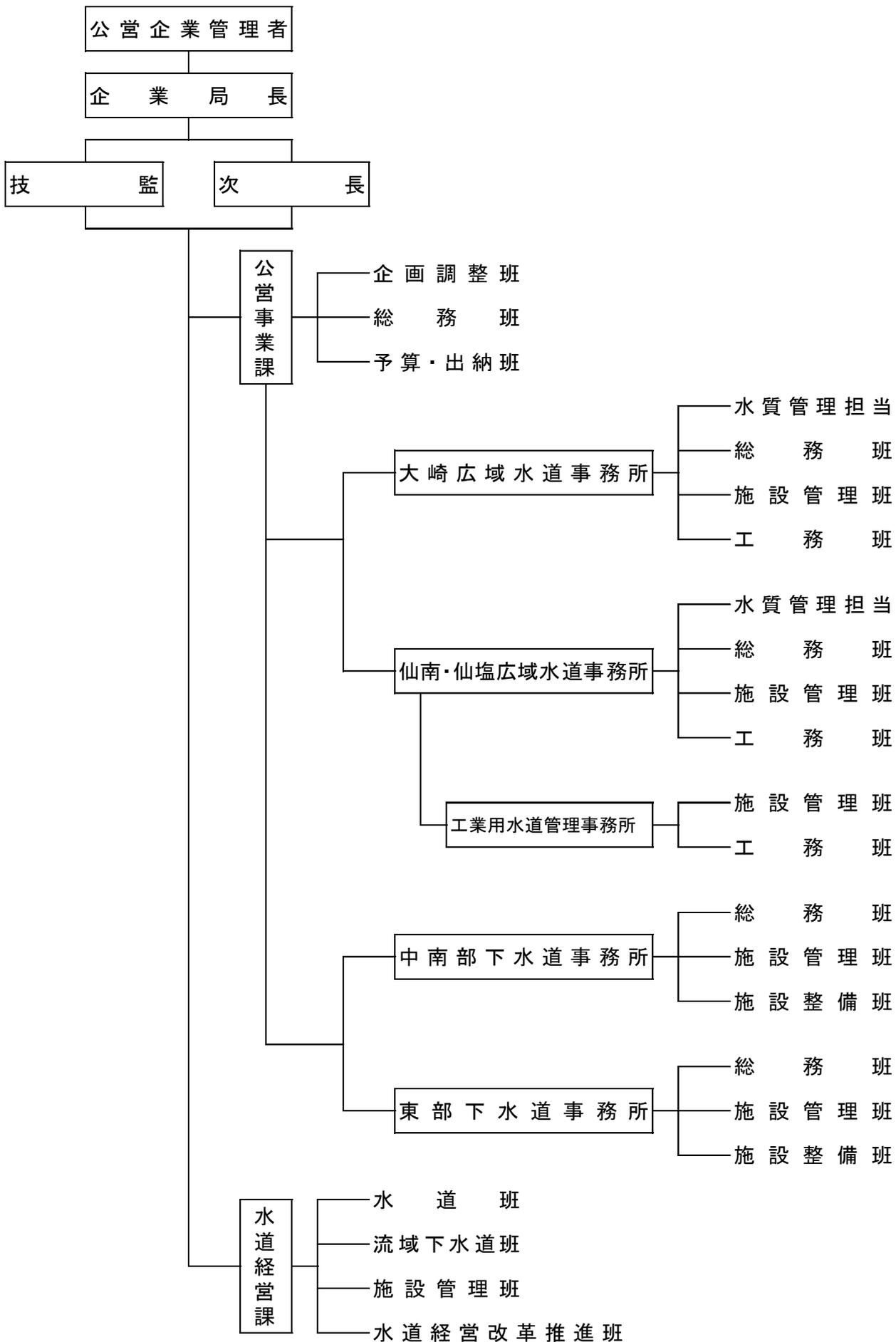
右下：石巻浄化センター（石巻市）（流域下水道事業）

目 次

I	企業局の組織	1
1	組織図.....	1
2	職員数一覧表.....	2
3	所在地.....	2
4	分掌事務.....	3
II	令和2年度予算の概要	4
III	事業の概要	6
1	水道用水供給事業.....	7
(1)	大崎広域水道事業.....	7
(2)	仙南・仙塩広域水道事業.....	12
2	工業用水道事業.....	20
(1)	仙塩工業用水道事業.....	20
(2)	仙台圏工業用水道事業.....	25
(3)	仙台北部工業用水道事業.....	30
(4)	仙南工業用水道事業(仮称).....	35
3	地域整備事業.....	36
4	流域下水道事業.....	39
(1)	仙塩流域下水道事業.....	39
(2)	阿武隈川下流流域下水道事業.....	46
(3)	鳴瀬川流域下水道事業.....	52
(4)	吉田川流域下水道事業.....	58
(5)	北上川下流流域下水道事業.....	64
(6)	北上川下流東部流域下水道事業.....	70
(7)	迫川流域下水道事業.....	76

I 企業局の組織

1 組織図(令和2年4月1日現在)



2 職員数一覧

(令和2年4月1日現在)

課所名	区分	事務	技術	労務	併任	合計
公営事業課		15(－)	1(－)		[20]	16(－)
水道経営課		14(－)	11(－)			25(－)
本局計		29(－)	12(－)		[20]	41(－)
大崎広域水道事務所		4(－)	15(－)	1(－)		20(－)
仙南・仙塩広域水道事務所		5(1)	21(－)	1(1)		27(2)
中南部下水道事務所		4(－)	14(1)			18(1)
東部下水道事務所		4(－)	14(－)			18(－)
地方機関計		17(1)	64(1)	2(1)		83(3)
合計		46(1)	76(1)	2(1)	[20]	124(3)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。局次長は公営事業課に含めています。

※2 ()内の数字は再任用職員数で、外書きで計上しています。

3 所在地

課所名	郵便番号	所在地	電話番号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022 - 211 - 3413
水道経営課	〃	〃	022 - 211 - 3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229 - 67 - 6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224 - 25 - 8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022 - 293 - 5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022 - 367 - 4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225 - 23 - 7381

4 分掌事務

(1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他室の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事並びに技術管理・指導に関すること。 8 水道経営改革に関すること。

(2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

II 令和2年度予算の概要

1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は310億4千5百余万円の前年度より32億5千4百余万円の減(△9.5%)、収益的支出は297億4百余万円の前年度より2億7千9百余万円の減(△0.9%)、収支差額は13億4千余万円の黒字で黒字幅は前年度より29億7千4百余万円の減となっています。

2 資本的収支予算

資本的収入は78億5千5百余万円の前年度より8億4千5百余万円の増(+12.1%)、資本的支出は172億7千7百余万円の前年度より4億9千8百余万円の減(△2.8%)、収支差額は△94億2千2百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額が前年度より13億4千4百余万円の減となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額94億2千2百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

令和2年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

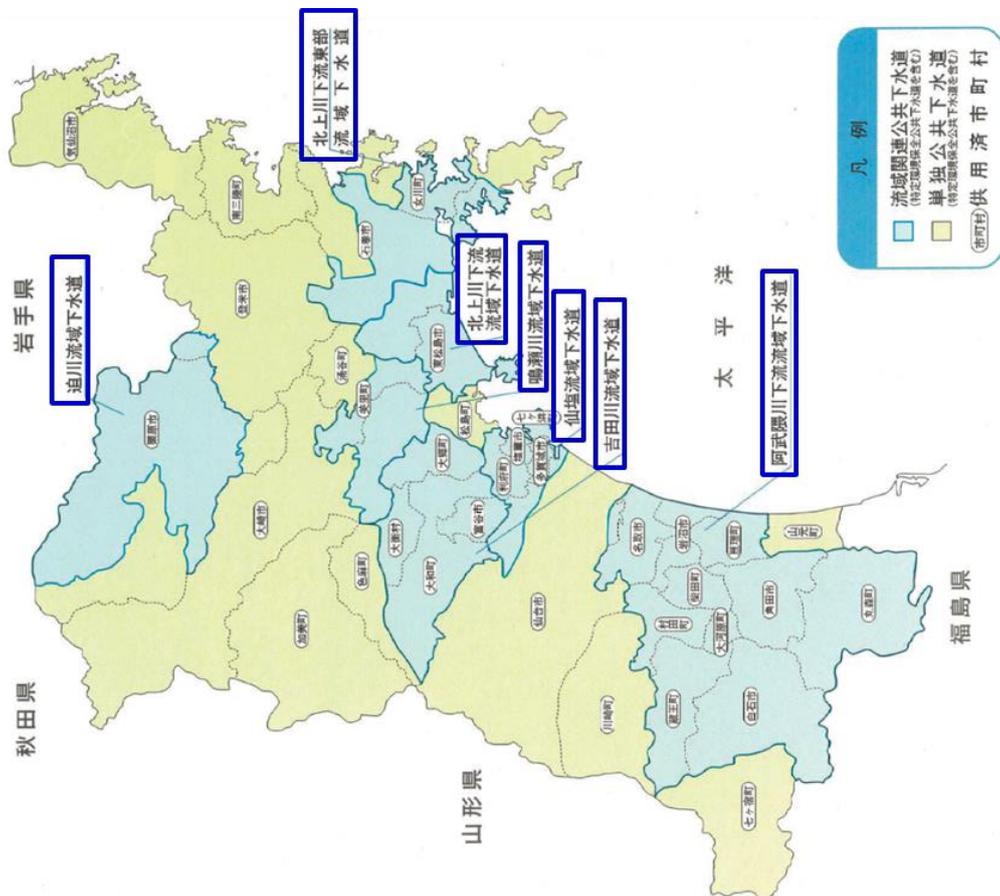
（税込 単位：千円）

収 入	水道用 水供給事業				工業用水道事業				流域下水道事業				地域整備	合計				
	大崎	仙南・仙壇		計	仙壇	仙台圏		仙台北部		計	仙壇	吉田川			北上川	北上川美部		計
		仙南	仙壇			仙台圏	仙台北部	阿武隈	鳴瀬川							北上川	北上川美部	
営業収益	2,954,885	9,017,884	11,972,769	602,875	585,192	501,401	1,639,468	1,580,816	1,541,184	200,722	519,872	564,830	543,833	321,930	5,273,187	534,519	19,419,943	
料金収入	2,944,020	8,977,752	11,921,772	602,479	493,724	501,401	1,597,604	1,580,816	1,541,184	200,722	519,872	564,830	543,833	321,930	5,273,187	481,512	19,274,075	
その他	10,865	40,132	50,997	396	41,468	0	41,864	0	0	0	0	0	0	0	0	53,007	145,868	
営業外収益	179,838	1,087,668	1,267,506	165,640	41,536	81,019	288,195	2,234,036	3,071,231	501,603	903,570	997,793	1,295,306	989,492	9,993,031	800	11,549,532	
他会計補助金	0	867	867	0	0	0	0	432,019	496,202	127,273	293,026	411,811	301,353	336,212	2,397,896	0	2,398,763	
その他	179,838	1,086,801	1,266,639	165,640	41,536	81,019	288,195	1,802,017	2,575,029	374,330	610,344	585,982	993,953	653,280	7,595,135	800	9,150,769	
特別利益	0	0	0	26,584	5,300	43,994	75,878	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,878	
計(A)	3,134,723	10,105,552	13,240,275	795,099	582,028	626,414	2,003,541	3,814,852	4,612,415	702,325	1,423,442	1,562,623	1,839,139	1,311,422	15,266,218	535,319	31,045,353	
営業費用	2,689,680	8,015,047	10,704,727	654,048	455,049	490,577	1,599,674	3,654,749	4,511,296	634,687	1,323,496	1,289,338	1,724,039	1,112,179	14,249,784	293,956	26,848,141	
営業外費用	256,959	1,262,321	1,519,280	62,174	26,344	66,160	154,678	106,231	93,071	45,758	46,785	87,381	68,730	67,904	515,860	1,910	2,191,728	
特別損失	158,419	249,410	407,829	53,973	8,803	54,616	117,392	0	0	19,502	17,252	69,374	9,768	0	115,896	11,689	652,806	
予備費	1,500	6,000	7,500	500	500	300	1,300	600	700	300	600	400	400	300	3,300	0	12,100	
計(B)	3,106,558	9,532,778	12,639,336	770,695	490,696	611,653	1,873,044	3,761,550	4,605,067	700,247	1,388,133	1,446,493	1,802,937	1,180,833	14,884,840	307,555	29,704,775	
差引当年度損益(A)-(B)	28,165	572,774	600,939	24,404	91,332	14,761	130,497	53,272	7,348	2,078	35,309	116,130	36,202	131,039	381,378	227,764	1,340,578	
企業債	197,900	534,800	732,700	196,000	143,400	0	339,400	158,300	164,600	7,700	32,000	106,200	107,900	34,700	611,400	0	1,683,500	
他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	354,000	94,000	43,000	260,000	154,000	246,000	150,000	1,301,000	0	1,301,000	
出資金	116,202	10,036	126,238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,238	
国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	325,923	332,865	22,187	64,741	294,614	307,639	66,076	1,414,045	0	1,414,045	
他会計補助金	115,849	11,174	127,023	0	0	405,933	405,933	263,375	159	11,899	208	630	18,626	596	295,493	0	828,449	
固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収入・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
工事負担金	0	0	0	237,121	0	363,526	600,647	147,532	143,076	118,486	25,190	99,729	119,023	35,295	688,331	3,176	1,292,154	
他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(C)	429,951	556,010	985,961	433,121	143,400	769,459	1,345,980	1,249,130	734,700	203,272	382,139	655,173	799,188	286,667	4,310,269	1,213,176	7,855,386	
建設改良費	1,048,235	3,149,266	4,197,501	491,812	291,015	855,764	1,638,591	884,595	626,600	161,240	123,024	496,870	546,597	138,340	2,977,266	75,244	8,898,602	
企業債償還金	612,385	3,332,904	3,945,289	67,126	11,167	0	78,293	313,325	405,798	82,496	261,215	302,174	229,544	260,021	1,854,573	0	5,878,155	
長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0	0	172,844	172,943	172,943	172,943	172,943	172,942	172,943	1,210,000	0	1,210,000	
長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般会計繰出金	1,660,620	6,482,170	8,142,790	558,938	302,182	855,764	1,716,894	1,370,264	1,205,341	416,678	557,182	971,987	949,083	571,304	6,041,839	1,376,244	17,277,757	
計(D)	1,230,669	5,926,160	7,156,829	125,817	158,782	86,305	370,904	121,134	470,641	213,406	175,043	316,814	149,895	284,637	1,731,570	163,068	9,422,371	
差引増減財源(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

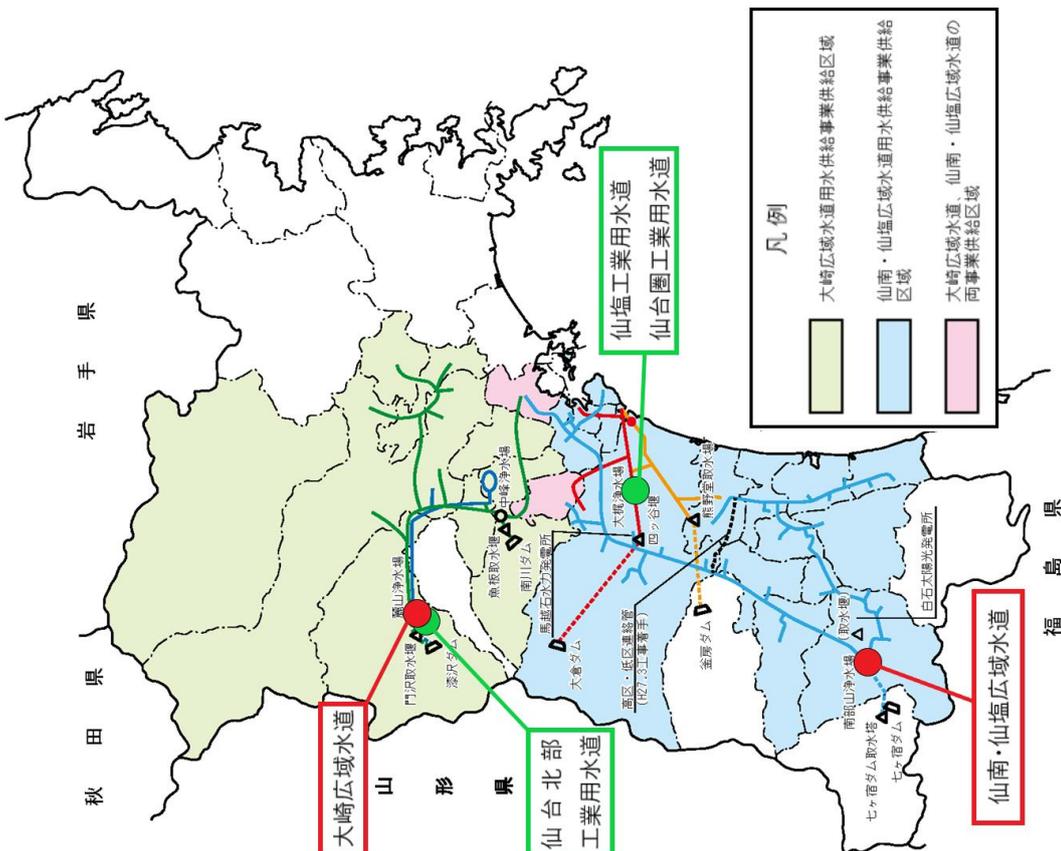
III 事業の概要

企業局事業概要図

流域下水道事業



水道用水供給事業・工業用水道事業



1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

(1) 大崎広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m³の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m³の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m³の給水が可能となっています。

● 令和2年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,657,320 m ³
一日平均給水量	59,335 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m ³	82,300 m ³	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m ³	37,700 m ³	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m ³	120,000 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m³/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

● 給水計画

水系	開始時期	給水量
漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m ³ /日
	昭和58年4月	82,300 m ³ /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m ³ /日
	水需要により対応	18,850 m ³ /日

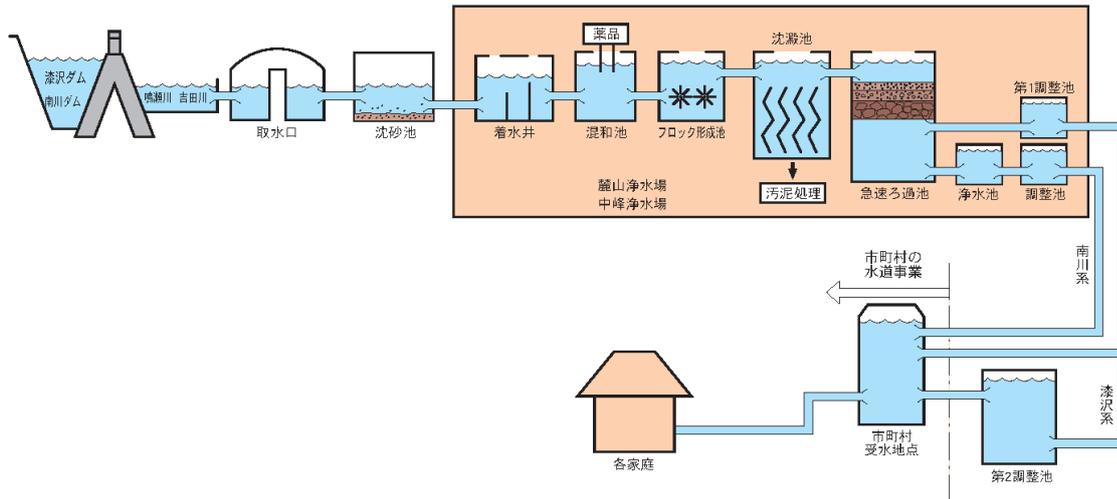
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭和 48 年度～昭和 54 年度
	第二期工事	昭和 55 年度～昭和 57 年度
南 川 系	第一期工事	昭和 58 年度～平成 6 年度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯水施設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建設利息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国庫補助金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企業債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出資金	3,806,000	3,308,000	498,000
	その他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円 〕
〔 南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位：%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 (松 島 町)	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 発電 上水道[88,500 m ³ /日] 工業用水[60,000 m ³ /日] 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km ² 総貯水量 18,000,000 m ³	南川ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持 上水道[40,000 m ³ /日] 型式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km ² 総貯水量 10,000,000 m ³
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2門 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室, 電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート1門, 水位調節ゲート2門 水道用取水ゲート2門 管理橋, 電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2坑 L=4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm L=4,345m 水管橋 2橋 L=151m 管理室, 電気計装設備一式	沈砂池 2池 ポンプ井 1井 立軸斜流ポンプ 3台(4台) 導水管 φ700mm L=1,758m ポンプ棟, 動力・電気計装設備一式 管理棟, 活性炭注入設備 水管橋 1橋
浄水施設	着水井 1井 活性炭接触池 1池 混和池 2池 フロック形成池 4池 薬品沈殿池 4池 急速ろ過池 8池 第一調整池 RC造 2池 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 3,646 m ² 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外	着水井 1井 混和池 2池 フロック形成池 2池 薬品沈殿池 2池 急速ろ過池 4池(6池) 浄水池 RC造 2池 調整池 1池 管理棟 RC造 地下1階, 地上2階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC造 1池 送水管敷設 φ100mm～φ1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17橋[うち添架2] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ200mm～φ600mm L=25,871m 水管橋 8橋[うち添架1] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
A	施設能力 m ³ /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B	契約水量 m ³ /日	75,250	75,350	75,300	75,300	74,150
C	責任水量 m ³ /日	60,200	60,280	60,240	60,240	59,320
D	取水水量 m ³ /年	25,766,867	24,323,254	24,564,866	—	—
E	給水量 m ³ /年	23,151,013	23,186,906	23,120,128	22,047,840	21,657,320
F	1日平均給水量 m ³	63,427	63,526	63,343	60,240	59,335
G	1日最大給水量 m ³	(8/5)71,834	(7/12)71,232	(8/3)69,659	—	—
H	有効水量 m ³ /年	23,148,021	23,184,228	23,115,468	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	63,419	63,518	63,330	—	—
J	無効水量 m ³ /年	2,992	2,678	4,660	—	—
K	有収水量 m ³ /年	23,145,180	23,183,027	23,114,812	22,047,840	21,651,800
L	1日平均有収水量 m ³	63,411	63,515	63,328	60,240	59,320
M	動力費 千円	60,069	58,719	65,292	65,692	73,380
N	薬品費 千円	42,493	43,005	45,589	68,078	76,821
O	資本費 千円	1,390,109	1,366,500	1,411,154	1,376,061	1,391,820

※ 消費税含まず。H28～30は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ S55～H30は決算ベース、R元は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

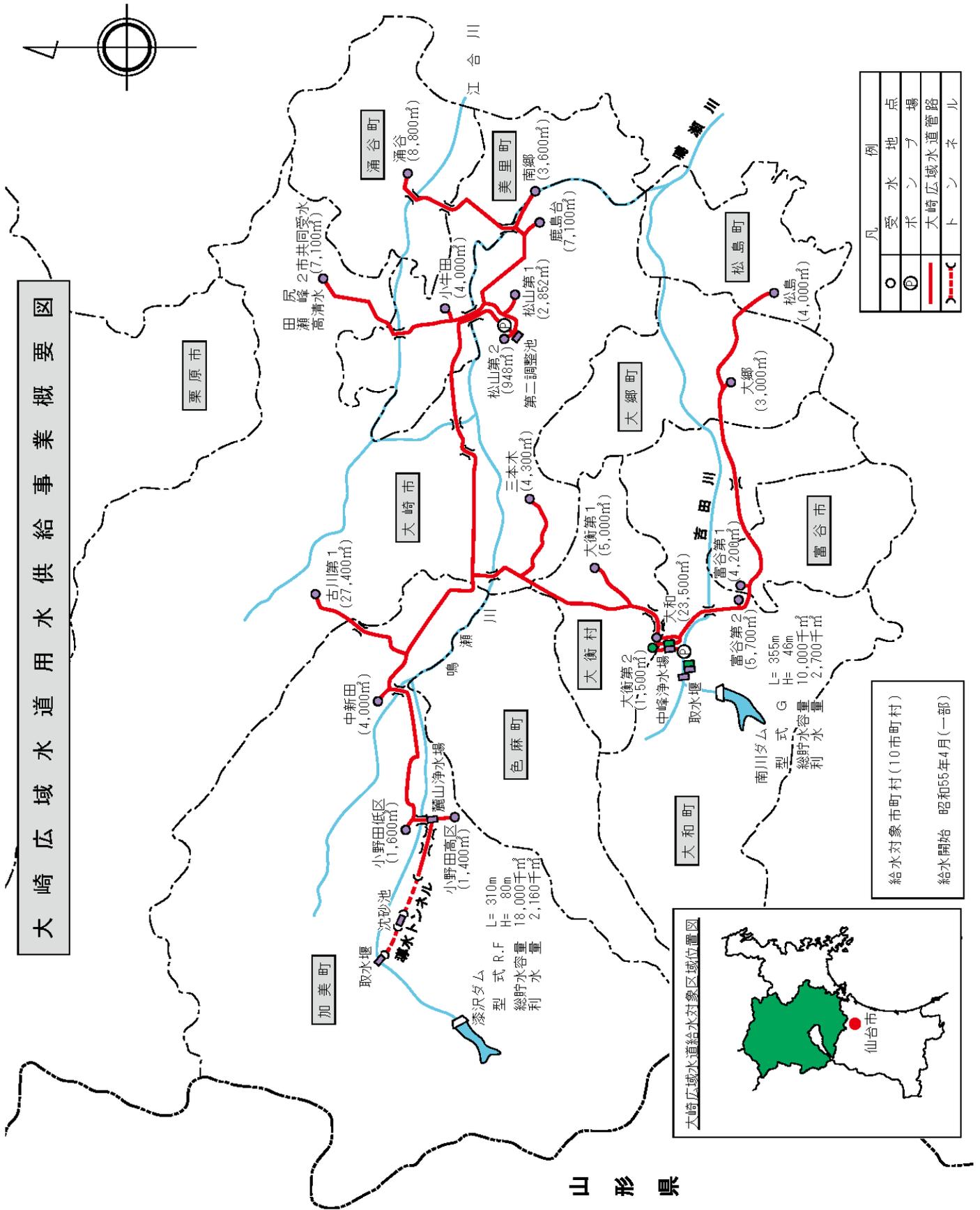
年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
基本料金	円/m ³ /月	950.00				496.00
使用料金	円/m ³	67.00				91.00
供給単価 (V/K)	円/m ³	126.34	126.05	126.24	127.68	123.61
給水原価 (W/K)	円/m ³	102.74	101.69	107.31	118.09	112.77
資本費 (O/K)	円/m ³	60.06	58.94	61.05	62.41	64.28

※ 消費税含まず。H28～30は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2	
収入	営業収益(除受託)	千円	2,928,549	2,925,240	2,922,290	2,818,220	2,679,647
	Vうち料金収入	千円	2,924,233	2,922,164	2,917,978	2,814,991	2,676,381
	営業外収益	千円	193,700	184,175	173,960	232,411	179,831
	特別利益	千円	145,624	—	57,450	25,277	—
	計	千円	3,267,873	3,109,415	3,153,700	3,075,908	2,859,478
支出	営業費用	千円	2,274,709	2,332,835	2,399,250	2,601,539	2,596,071
	営業外費用	千円	123,445	111,874	98,044	87,392	79,597
	特別損失	千円	64,972	71,100	3,836	128,225	147,880
	W経常費用(除受託)	千円	2,377,975	2,357,467	2,480,518	2,603,557	2,441,581
	計	千円	2,463,126	2,515,809	2,501,131	2,818,519	2,824,911
当年度純利益	千円	825,559	683,158	670,136	347,513	28,165	

※ 消費税含まず。H28～30は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m³の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m³の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部 (15 市町) 給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m³の給水が可能となっています。

● 令和 2 年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	64,848,080 m ³
一日平均給水量	177,666 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計 画 取 水 量	計 画 給 水 量	取 水
ダ ム 取 水	300,000 m ³	279,000 m ³	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m ³	274,300 m ³	白 石 川 表 流 水
計	595,000 m ³	553,300 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m³/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七 ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月 (一部給水開始)	139,500 m ³ /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m ³ /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m ³ /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m ³ /日

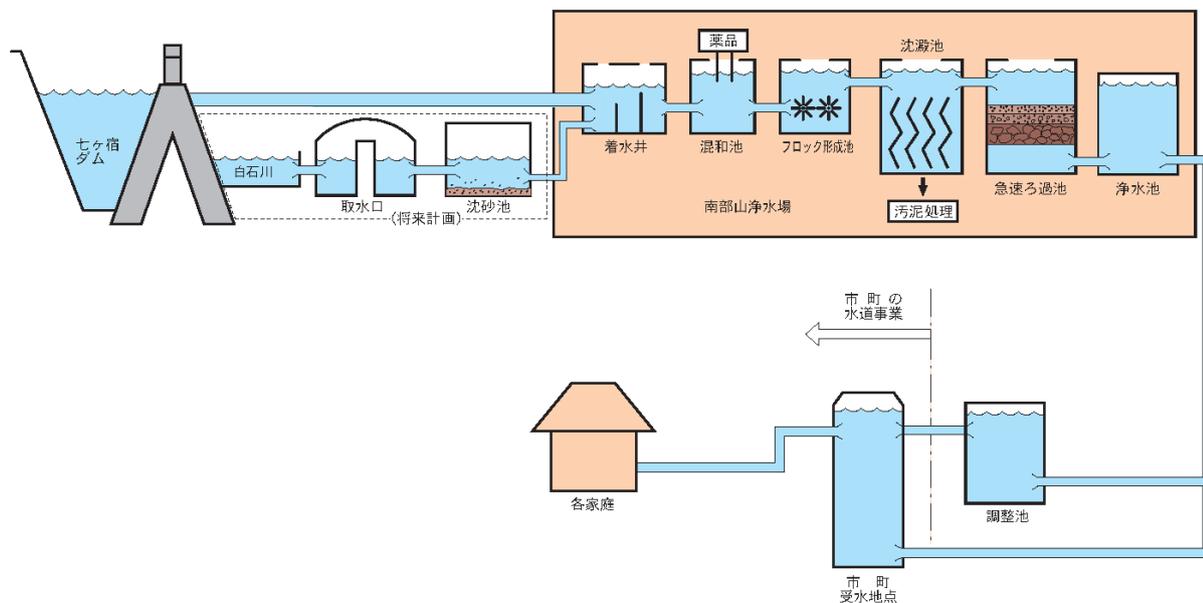
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭和 52 年度～平成元年度
第二期工事(ダム系)	平成 2 年度～平成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	全体計画	第二期工事まで	第三期工事以降	
貯水施設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962		
広域化施設	第一期工事	113,627,437		
	第二期工事	4,422,187		
	第三期工事	16,897,601	14,918,831	
	第四期工事	5,188,743	5,188,743	
	計	140,135,968	120,028,394	20,107,574
建設利息等	110,395,811	108,002,546	2,393,265	
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839	
財源内訳	国庫補助金	66,404,061	59,836,615	6,567,446
	企業債	212,865,000	203,640,000	9,225,000
	出資金	31,427,000	24,721,000	6,706,000
	その他	223,680	221,287	2,393
	合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839

● 七ヶ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位：%)

区 分	建設費	管理費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0

③ 施設の概要

施設区分	概要	
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 都市用水, 河川維持 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km ² 総 貯 水 量 109,000,000 m ³ 本事業取水分 一日最大 595,000 m ³	
取水施設	ダム直接取水	河道取水
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC造 沈砂池 RC造 4池
導水施設	導水トンネル R=0.9 幌形[φ1,800mm] L=11,135m 水管橋 3橋 水路橋 1橋 総延長 11,703m	導水管 φ1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5台 ポンプ棟 電気計装設備一式
浄水施設	着水井 1井(2井) 薬品混和池 2池(4池) フロック形成池 4池(8池) 傾斜板式横流沈殿池 4池(8池) 重力式急速ろ過池 20池(40池) 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 5,326 m ² 塩素混和池 2池 浄水池 2池	
送水施設	高区系[4市5町]	低区系[4市4町]
	調整池 RC造 2池 送水管 φ2,400mm~φ150mm L=123,409m 水管橋 24橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,200mm~φ150mm L=77,060m 水管橋 13橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

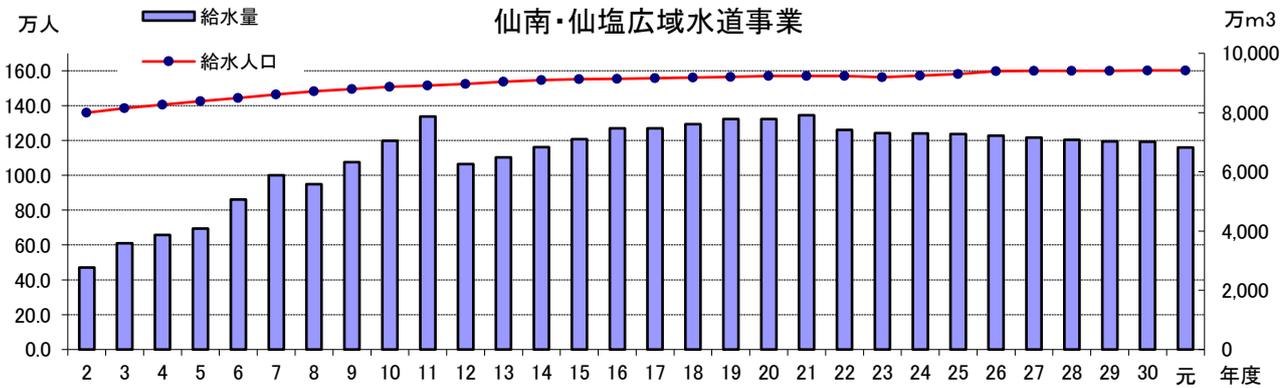
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 28	H 29	H30	R 元	R 2
A	施設能力 m ³ /日	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B	契約水量 m ³ /日	237,200	235,500	234,200	233,000	221,900
C	責任水量 m ³ /日	189,760	188,400	187,360	186,400	177,520
D	取水量 m ³ /年	73,655,110	73,182,670	73,389,660	—	—
E	給水量 m ³ /年	70,888,810	70,285,914	70,183,766	68,228,160	64,848,080
F	1日平均給水量 m ³	194,216	192,564	192,284	186,416	177,666
G	1日最大給水量 m ³	(9/6)213,899	(7/11)210,349	(1/24)212,420	—	—
H	有効水量 m ³ /年	70,888,810	70,285,914	70,183,766	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	194,216	192,564	192,284	—	—
J	無効水量 m ³ /年	0	0	0	—	—
K	有収水量 m ³ /年	70,838,569	70,279,560	70,164,970	68,228,160	64,848,080
L	1日平均有収水量 m ³	194,078	192,547	192,233	186,416	177,666
M	動力費 千円	43,786	46,057	48,210	51,644	54,011
N	薬品費 千円	95,645	59,038	55,629	69,226	136,020
O	資本費 千円	6,551,091	6,442,162	6,388,868	6,332,395	6,266,387

※ 消費税含まず。H28～30 は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ H28～30 は決算ベース、R元は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
基本料金	円/m ³ /月	1,050.00				817.00
使用料金	円/m ³	54.00				42.00
供給単価 (V/K)	円/m ³	152.45	153.32	153.65	154.52	125.86
給水原価 (W/K)	円/m ³	115.94	114.42	116.13	121.06	128.26
資本費 (O/K)	円/m ³	92.48	91.66	91.05	92.81	96.63

※ 消費税含まず。H28～30 は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。

● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収入	営業収益 (除受託) 千円	10,799,655	10,775,245	10,781,607	10,542,789	8,161,592
	Vうち料金収入 千円	10,799,655	10,775,245	10,780,975	10,542,789	8,161,592
	営業外収益 千円	1,082,585	1,107,818	1,078,651	1,094,567	1,086,567
	特別利益 千円	308,410	—	147,984	77,601	—
	計 千円	12,190,650	11,883,063	12,008,242	11,714,957	9,248,159
支出	営業費用 千円	7,340,945	7,327,805	7,581,123	7,749,765	7,882,804
	営業外費用 千円	877,263	740,626	631,103	539,389	465,670
	特別損失 千円	273,331	333,091	166,675	256,673	241,455
	W経常費用(除受託) 千円	8,212,884	8,041,351	8,148,218	8,259,620	8,317,445
	計 千円	8,491,539	8,401,522	8,378,901	8,551,281	8,595,383
当年度純利益 千円	3,704,626	3,704,626	3,695,764	3,256,830	572,774	

※ 消費税含まず。H28～30 は決算ベース、R元は最終現計予算ベース、R2は当初予算ベースで作成。

仙南・仙塩広域水道用水供給事業概要図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

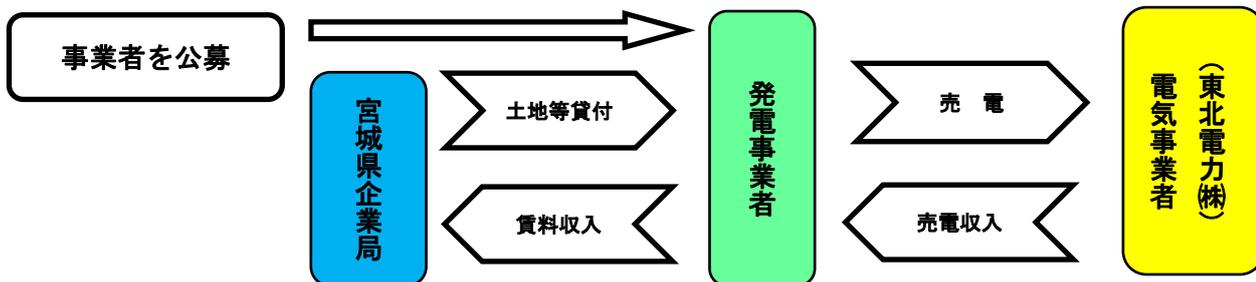
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び省水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 ソーラーパワー白石(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m² 河道系沈砂池用地 (白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年 (一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日

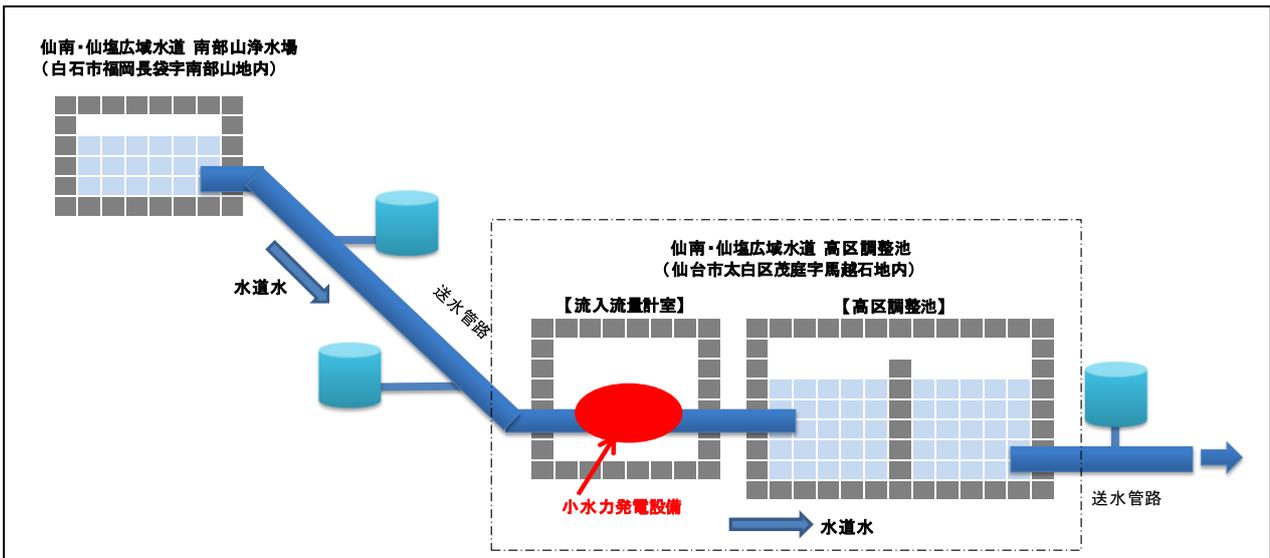


施工前

施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
 【構成企業】東北発電工業(株), アジア航測(株),
 東北自然エネルギー(株), 日本小水力発電(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池 (仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年 (一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 500 万円
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円 (186 万×29 円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量: 1.037m³/s (約 90,000m³/日)
 最大水量: 1.25m³/s (約 108,000m³/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



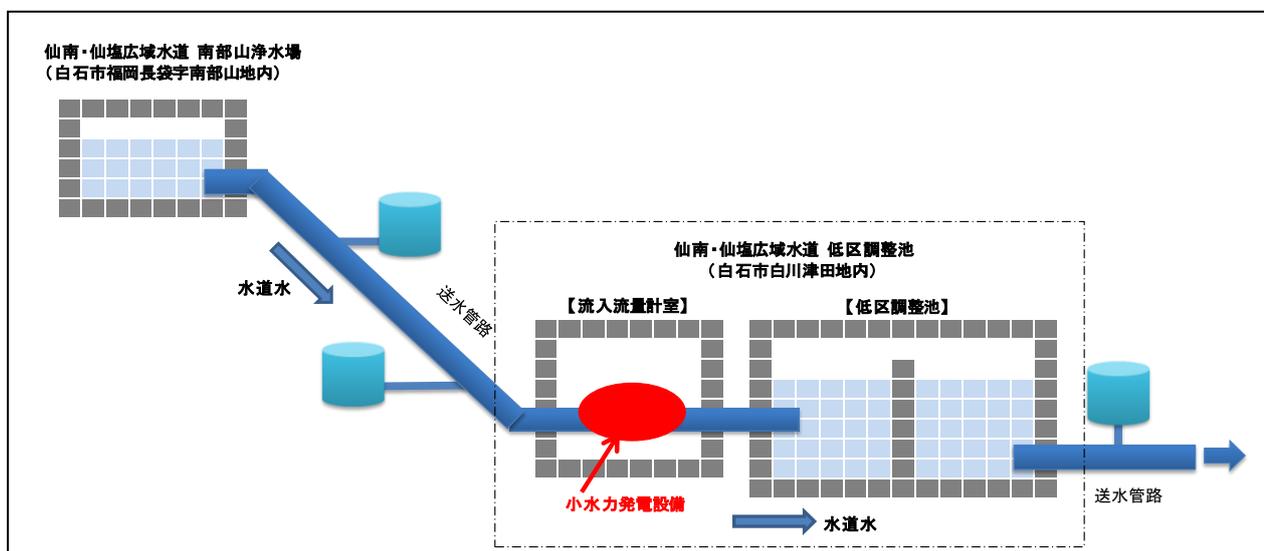
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池 (白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年 (一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 135 万円
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円 (66 万×34 円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.44m³/s (約 38,000m³/日)
最大水量: 0.48m³/s (約 41,000m³/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



施工前



施工後

2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

また、本県南部の阿武隈川水系白石川に平成3年度に完成した七ヶ宿ダムを水源とし、仙南地域における各工業導入地区へ供給する計画のあった「仙南工業用水道（仮称）」については、平成21年度に事業廃止を決定し、令和元年度に事業の清算を全て終わりました。

(1) 仙塩工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和32年度から昭和38年度までの7年間で建設されたもので、昭和36年11月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大100,000 m³です。

昭和39年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和46年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和49年度から昭和63年度までの15年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成5年度に終了し、平成6年4月1日より給水を開始しています。

● 令和2年度の業務予定量（4月1日現在）

給水事業所数	41社
年間総給水量	10,048,450 m ³
一日平均給水量	27,530 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系大倉川（大倉ダム）

● 取 水

広瀬川四ツ谷堰（仙台市青葉区折立郷六）大倉ダム放流水 一日最大100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大100,000 m ³	
水 質 等	濁 度	10度以下
	水素イオン濃度	PH6.0～8.0

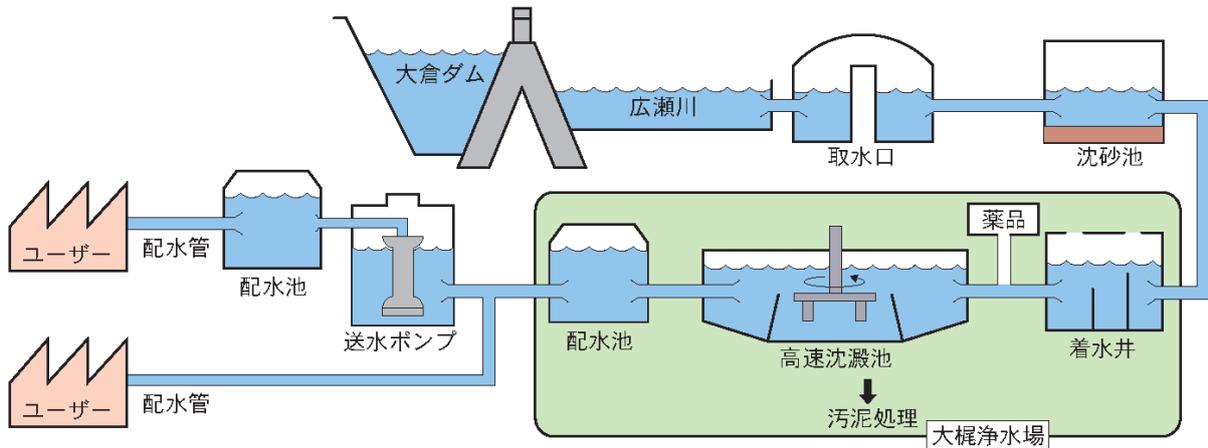
● 給水区域

仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年度～ 5 年度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	事 業 費				計	
	当初建設	拡張工事	改築工事	拡張工事		
			(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)		
取水・導水・浄水工事費	421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887	
配水工事費	608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264	
用地補償費	24,296	480	336,397	200,178	561,351	
その他	36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844	
計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346	
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企業債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	その他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	5.6 %	5.6 %
公共	64.2 %	63.1 %
水道	29.4 %	30.5 %
発電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項目	概要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[135,000 m ³ /日] 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km ² 総貯水量 28,000,000 m ³
取水施設	取水口, 自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道, 暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm~φ1,000mm) 5,287m
浄水施設	着水井 1井 接合分水井 1井 高速沈殿池 4池 計量室 1式 中央操作室 1棟 電気計装施設 1式
送水施設	配水池 大槻配水池 2池(1池容量2,000 m ³) 富谷配水池 2池(1池容量1,000 m ³) 配水管延長 φ100mm~φ1,350mm 71,306m 水管橋 13橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4台

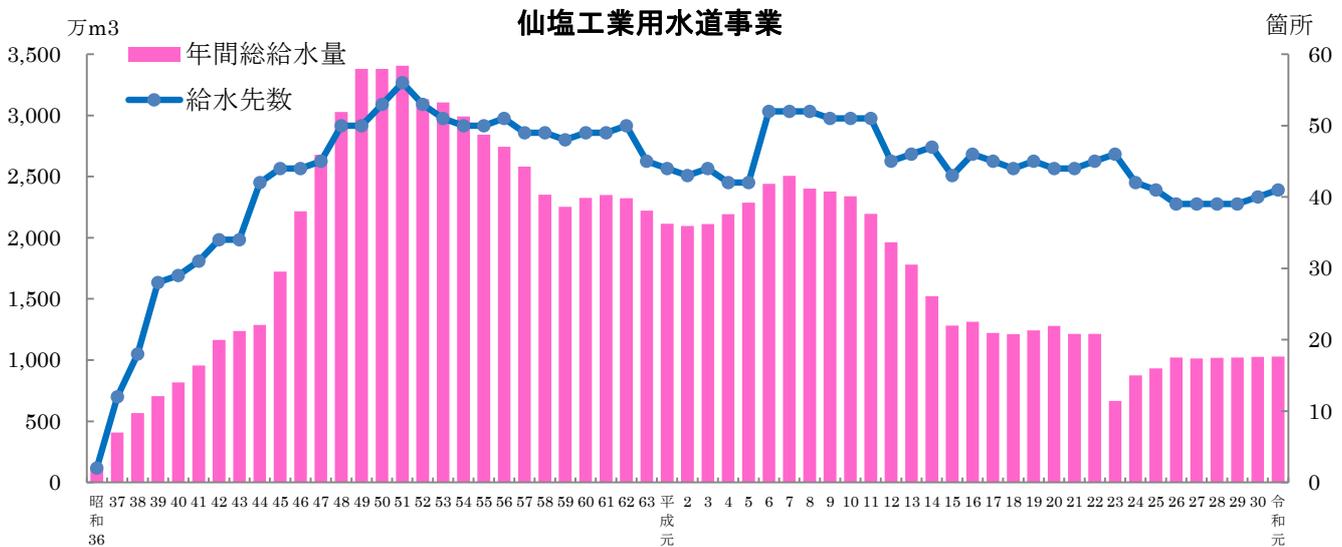
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
契約水量 (m ³ /日)	33,440	24,810	23,770	28,360	27,840	27,640	27,890	27,890	27,990	28,030
契約事業所数(箇所)	45	44	42	41	39	39	39	39	40	41

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和2年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	9,100	1
電気業	7,500	2
電気機械器具製造業	2,320	5
食料品製造業	2,030	6
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	580	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	200	1
印刷・同関連業	200	2
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,540	17
計	27,530	41

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭	54円 59円40銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭	108円 118円80銭

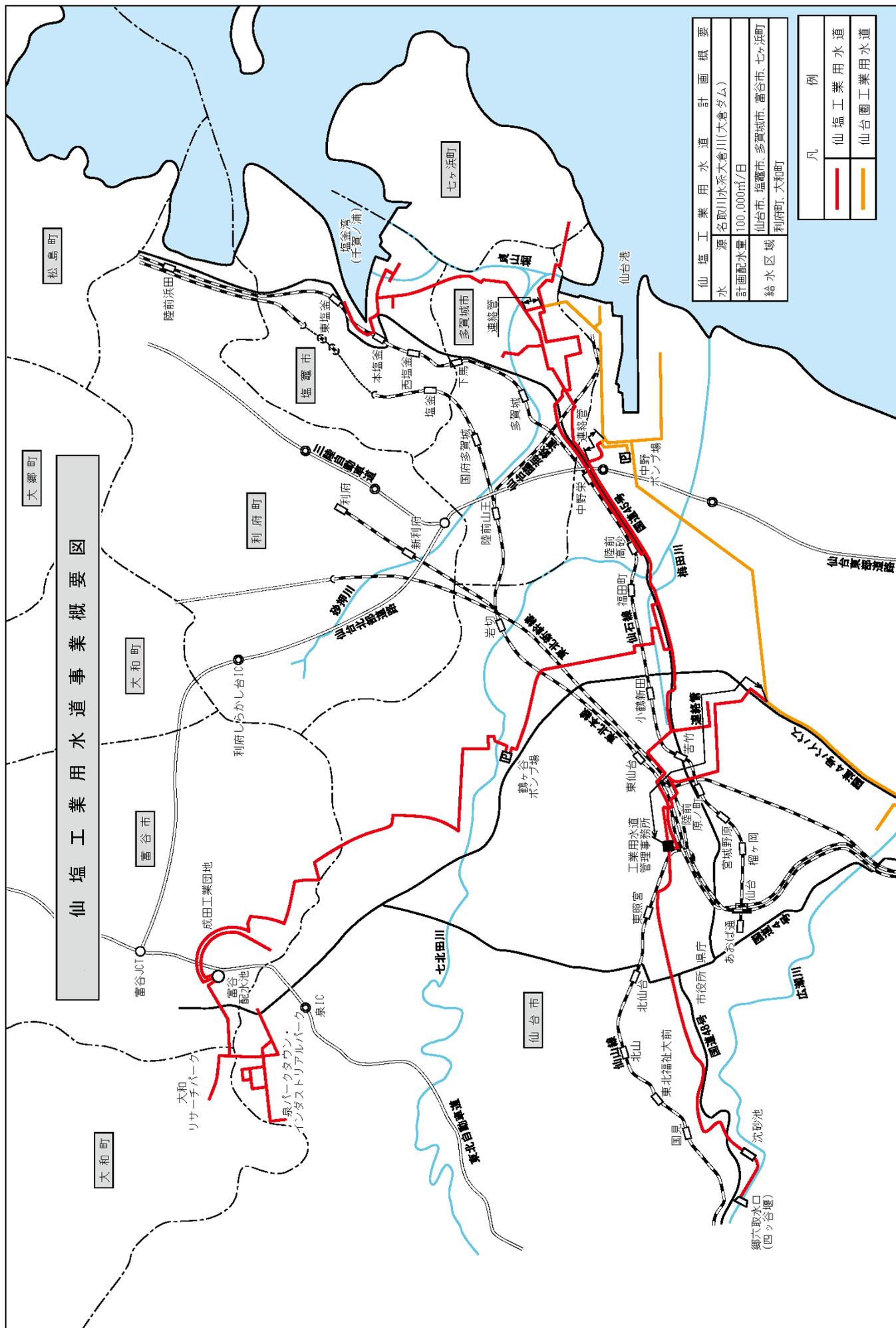
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H28	H29	H30	R元	R2
収 入	営業収益	552,518	553,882	558,418	607,375	602,875
	営業外収益	167,831	154,263	149,494	150,379	165,640
	特別利益	3,015	0	0	0	26,584
	計	723,364	708,145	707,912	757,754	795,099
支 出	営業費用	610,869	620,507	630,964	643,147	654,048
	営業外費用	14,831	14,977	11,115	62,682	62,174
	特別損失等	0	12,968	0	27,007	54,473
	計	625,700	648,452	642,079	732,836	770,695
当年度純利益		97,664	59,693	65,833	24,918	24,404
当年度未処分利益剰余金		880,585	625,628	413,338	299,083	237,169
供給単価(円/m ³)		54.22	54.22	54.41	59.06	59.40
給水原価(円/m ³)		46.41	62.24	62.60	68.69	70.61
資本費(円/m ³)		23.29	22.60	37.84	37.88	35.69

※H28～30は決算額(消費税抜き)、R元は最終現計予算額(消費税込み)、R2は当初予算額(消費税込み)



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m³で、仙台港背後地に立地する石油精製，都市ガス，鉄鋼関連の企業等のほか、名取市，七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和 2 年度の業務予定量 (4 月 1 日現在)

給水事業所数	14 社
年間総給水量	14,961,350 m ³
一日平均給水量	40,990 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川 (釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³
水 質	原水供給

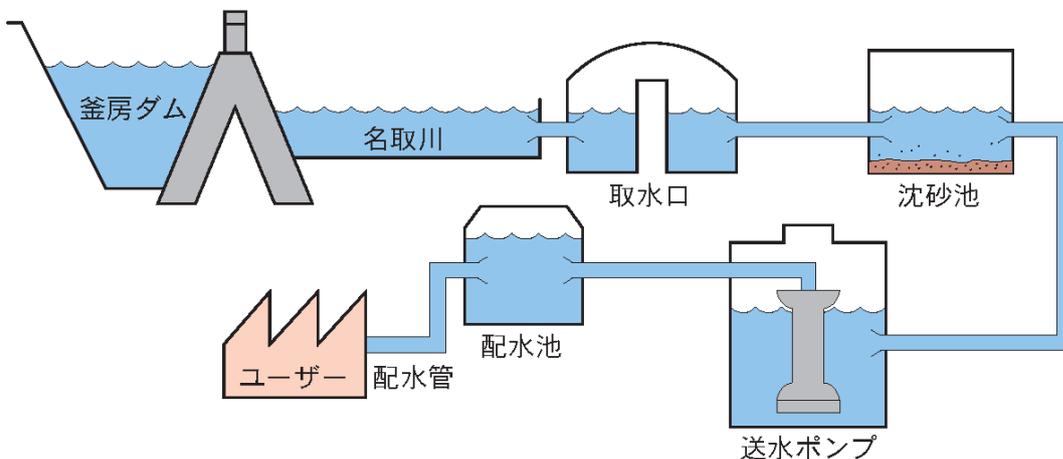
● 給水区域

仙台市，名取市，多賀城市，七ヶ浜町，利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯水工事費		566,260	S46年度まで
取水・送水工事費		1,093,773	S47～S51年度
配水工事費		4,294,447	〃
用地補償及び調査費		1,278,412	〃
その他		838,289	S42～S51年度
計		8,071,181	
財源内訳	国庫補助金	2,531,400	
	企業債	5,336,000	
	一般会計からの出資金等	200,403	
	その他	3,378	
計		8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45年 事業費 8,720,000千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	6.5%	6.5%
公用	74.6%	74.6%
上水道(仙台市)	18.8%	18.8%
発電	0.1%	0.1%
計	100.0%	100.0%

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[200,000 m ³ /日], 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km ² 総貯水量 45,300,000 m ³
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m ³ 2池[走行式吸砂装置付]
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3台(うち予備1台) 自家発電機(停電予備用) 送水管 φ1,000mm 総延長175m
配水施設	配水池 2池(1池あたり 2,000 m ³) 配水管 φ150mm～φ1,000mm 延長 29,417m 配水池～中田 φ1,100mm 4,712m 中田～名取 φ350mm 1,826m 中田～仙台港 φ1,000mm 14,618m 内 名取川水管橋 543m 笹川水管橋 24m 広瀬川水管橋 304m 七北田川水管橋 156m 仙台港 φ1,000mm 30m φ900mm 728m φ800mm 985m φ700mm 4,149m φ600mm 634m 若林 φ200mm～φ350mm 796m 南小泉 φ150mm 407m 仙塩・仙台圏の連絡管 φ500mm 532m

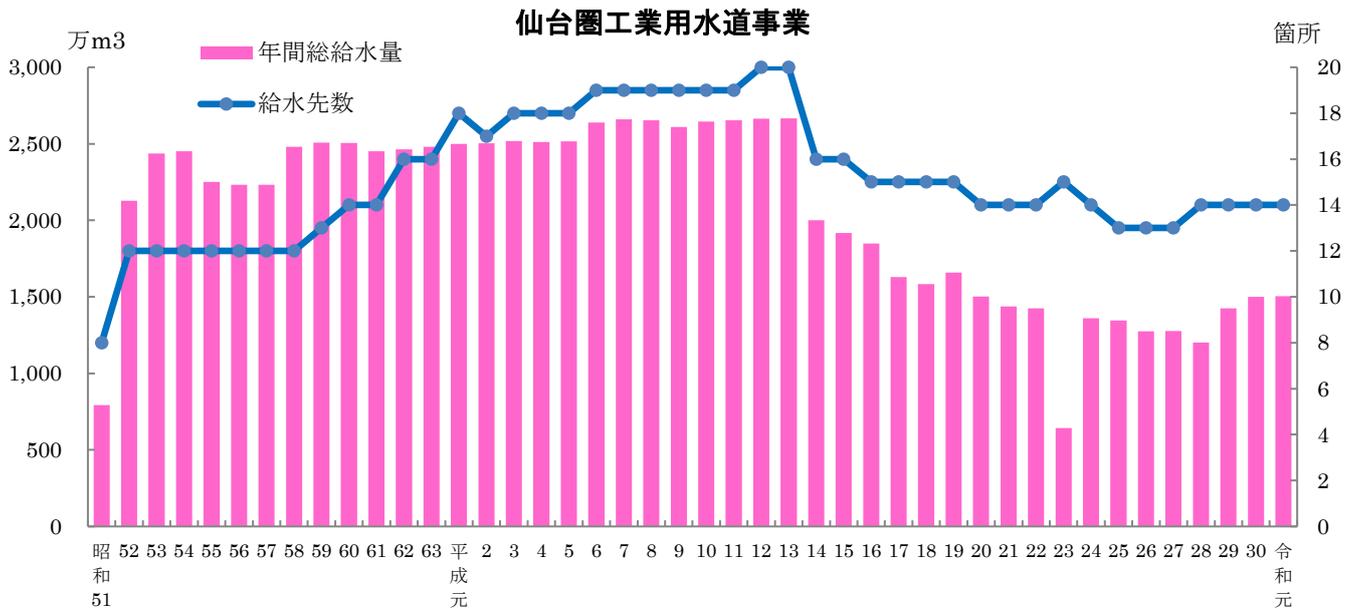
④ 経営の状況

● 給水状況

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
契約水量 (m ³ /日)		38,690	34,490	36,230	34,860	34,860	34,860	33,310	40,990	40,990	40,990
契約事業所数 (箇所)		14	15	14	13	13	13	14	14	14	14

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和2年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	8,600	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	8,000	1
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	40,990	14

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S51年 10月1日	S58年 4月1日	H元年 4月1日	H9年 4月1日	H26年 4月1日	H29 4月1日	R元 10月1日
基本料金	17円	23円	23円	23円	23円	30円	30円
	—	—	23円69銭	24円15銭	24円84銭	32円40銭	33円
超過料金	34円	46円	46円	46円	46円	60円	60円
	—	—	47円38銭	48円30銭	49円68銭	64円80銭	66円

※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H28	H29	H30	R元	R2
収 入	営業収益	502,500	516,845	459,855	594,654	535,192
	営業外収益	86,763	81,644	74,249	46,924	41,536
	特別利益	13,413	0	0	14,331	5,300
	計	602,676	598,489	534,104	655,909	582,028
支 出	営業費用	671,342	496,939	433,053	513,186	455,049
	営業外費用	8,145	58	720	41,266	26,344
	特別損失等	4,029	2,502	0	41,927	9,303
	計	683,516	499,499	433,773	596,379	490,696
当年度純利益		△80,840	98,990	100,331	59,530	91,332
当年度未処分利益剰余金		216,447	306,332	370,035	201,427	233,759
供給単価(円/㎥)		23.05	29.50	30.03	32.66	33.00
給水原価(円/㎥)		34.41	24.52	28.93	36.90	32.18
資本費(円/㎥)		9.94	8.91	12.95	9.71	8.58

※H28～30は決算額(消費税抜き), R元は最終現計予算額(消費税込み), R2は当初予算額(消費税込み)



(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m³の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

● 令和 2 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	15 社
年間総給水量	7,292,700 m ³
一日平均給水量	19,980 m ³

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m ³
水 質	原水供給 53,500 m ³ /日
	一部浄水（濁度 1 度以下）5,000 m ³ /日（衡東浄水場）

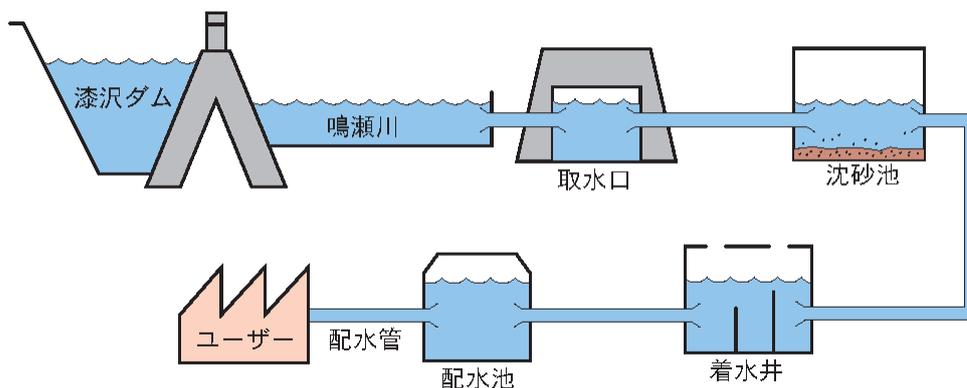
● 給水区域

大崎市，大和町，大衡村，加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費
取水・導水工事費		2,901,559
配水工事費		5,235,756
用地補償費		131,051
その他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国庫補助金	2,631,406
	企業債	10,638,000
	その他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要	
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)	
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取水堰 長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2門) 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室 電気計装設備一式	
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等 2坑 4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm 4,345m 水管橋 2橋 151m 管理室 電気計装設備一式	
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着水井 1井 フロック形成池 2池 沈殿池 2池	ろ過池 2池 管理棟(平屋) 1棟 各種計装設備 1式
配水施設	配水池 (麓山) 1,215 m ³ 2池 配水管 φ900mm 29,749m 内〔掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m〕 φ700mm 518m 内(高倉水管橋 300m) φ900mm 1,499m φ400mm 3,569m φ250mm～φ400mm 142m (衡東枝線) φ150mm～φ600mm 8,714m (仙台北部中核工業団地内) φ150mm～φ250mm 954m (枝線) φ100mm～φ200mm 3,877m (第二北部中核工業団地) 桔梗平配水池 920 m ³ 1池	

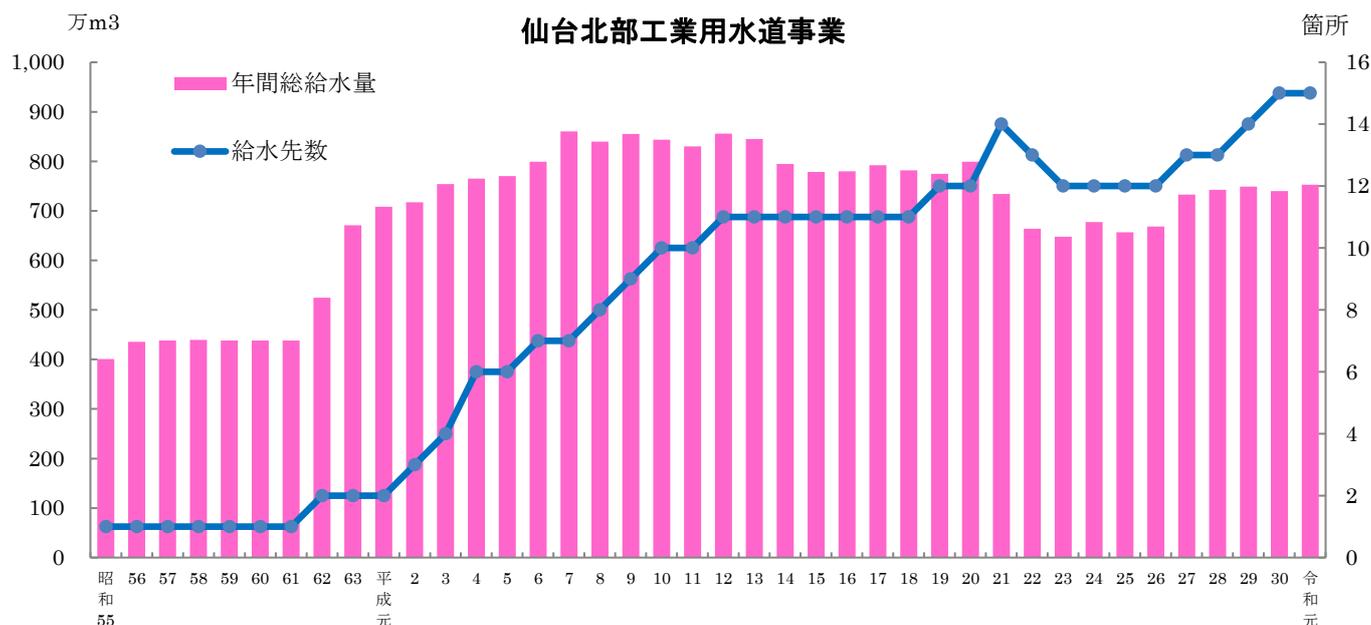
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
契約水量(m ³ /日)	17,820	19,070	18,690	17,960	19,660	20,260	20,360	20,360	20,560	20,530
契約事業所数(箇所)	13	12	12	13	14	14	14	14	15	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和2年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
金属製品製造業	8,840	2
電気機械器具製造業	5,190	6
化学工業	3,450	2
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
計	19,980	15

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S55年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	36円	36円 37円8銭	43円 44円29銭	50円 51円50銭	50円 52円50銭	59円 61円95銭	59円 63円72銭
超過料金	72円	72円 74円16銭	86円 88円58銭	100円 103円	100円 105円	118円 123円90銭	118円 127円44銭

区分	R元年 10月1日
基本料金	59円 64円90銭
超過料金	118円 129円80銭

浄水施設で浄化した工業用水の供給を受ける場合は次の料金を加える。

区分	S62年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	13円	13円 13円39銭	14円 14円42銭	16円 16円48銭	16円 16円80銭	20円 21円	20円 21円60銭
超過料金	26円	26円 26円78銭	28円 28円84銭	32円 32円96銭	32円 33円60銭	40円 42円	40円 43円20銭

区分	R元年 10月1日
基本料金	20円 22円
超過料金	40円 44円

※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H28	H29	H30	R元	R2
収 入	営業収益	463,990	468,415	462,816	512,503	501,401
	営業外収益	72,461	74,119	70,249	78,531	81,019
	特別利益	5,008	0	3,105	8,574	43,994
	計	541,459	542,534	536,170	599,608	626,414
支 出	営業費用	421,292	421,521	421,088	441,571	490,577
	営業外費用	2,782	1,608	990	88,699	66,160
	特別損失等	0	0	0	25,032	54,916
	計	424,074	423,129	422,078	555,302	611,653
当年度純利益		117,385	119,405	114,092	44,306	14,761
当年度未処分利益剰余金		△646,395	△526,990	△412,898	△355,192	△340,431
供給単価(円/㎥)		62.48	62.53	62.57	68.07	68.75
給水原価(円/㎥)		47.42	56.48	57.06	70.43	76.34
資本費(円/㎥)		30.01	29.71	40.12	39.57	41.24

※H28～30は決算額(消費税抜き)、R元は最終現計予算額(消費税込み)、R2は当初予算額(消費税込み)

(4) 仙南工業用水道事業(仮称)

① 事業の概要

本事業は、仙南地域における工業用水の供給を目的として計画されていた事業ですが、水需要が見込めないことから、平成 21 年度に事業廃止を決定し、平成 22 年度以降は事業の清算を行ってきており、令和元年度に精算が終了しました。

● 清算状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	H28	H29	H30	R 元	備 考
収 益 的 収 入	76,852	22,055	7,586	3,179	他会計補助金
収 益 的 費 用	530	161	52	14	企業債利息等
当 年 度 利 益	76,322	21,894	7,534	3,165	
資 本 的 収 入	-	-	-	-	
資 本 的 支 出	76,324	21,894	7,534	3,169	企業債等償還金
収支(△不足額)	△76,324	△21,894	△7,534	△3,169	
年度末資金残高	1	1	1	0	

※H28～30 は決算額(消費税抜き), R 元は最終現計予算額(消費税込み)

3 地域整備事業

(1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンターの建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

(2) 事業内容

① 地域整備事業

仙台港国際ビジネスサポートセンター等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

(3) 令和2年度の主な事業

① 仙台港国際ビジネスサポートセンター（愛称：アクセル）施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターと合築で建設し、平成12年3月18日に全館開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1・2階部分のアクセル・ホール及びラボ等は営業を休止していましたが、平成25年度からの本復旧工事により平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3から5階のオフィス部分については、顧客ニーズに則した入居促進策や適切な維持策を講じ、更なる経営改善を図るとともに、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担ってまいります。

建物概要

所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
敷地面積	26,076 m ² (約7,887坪)
延床面積	10,750 m ² (約3,252坪)
構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
建設年度	平成9年度～平成11年度
駐車場台数	523台
施設	1階 多目的ホール、イベントホール、会議室 2階 研修室、事務室等 【1・2階みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館として経済商工観光部所管部分】
	3階～5階 オフィススペース、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。

③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク 仙台港及びカインズモール仙台港に貸付
流通業務施設	23,521.56㎡	流通事業者等11者に貸付
計	145,690.58㎡	



④ 他会計に対する長期貸付事業

令和2年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
水道用水供給事業会計	3,007,000,000円	3,007,000,000円	0円
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
工業用水供給事業会計	5,395,200,000円	5,395,200,000円	0円
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
流域下水道事業会計	1,210,000,000円	0円	1,210,000,000円
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	0円	172,344,000円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	0円	172,943,000円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	0円	172,942,000円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	0円	172,943,000円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	0円	172,943,000円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	0円	172,942,000円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	0円	172,943,000円
計	9,612,200,000円	8,402,200,000円	1,210,000,000円

4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水を処理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

(1) 仙塩流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区3市2町（仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は26.2kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は317.5千人、下水道処理人口普及率は99.3%に達しています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	39,719,000 m ³
日平均処理汚水量	108,819 m ³

● 仙塩流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	9,008.8ha	8,453.1ha	7,406.2ha
処理人口	308,531人	321,206人	317,556人
処理能力	222,200 m ³ /日	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,246m	26,246m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

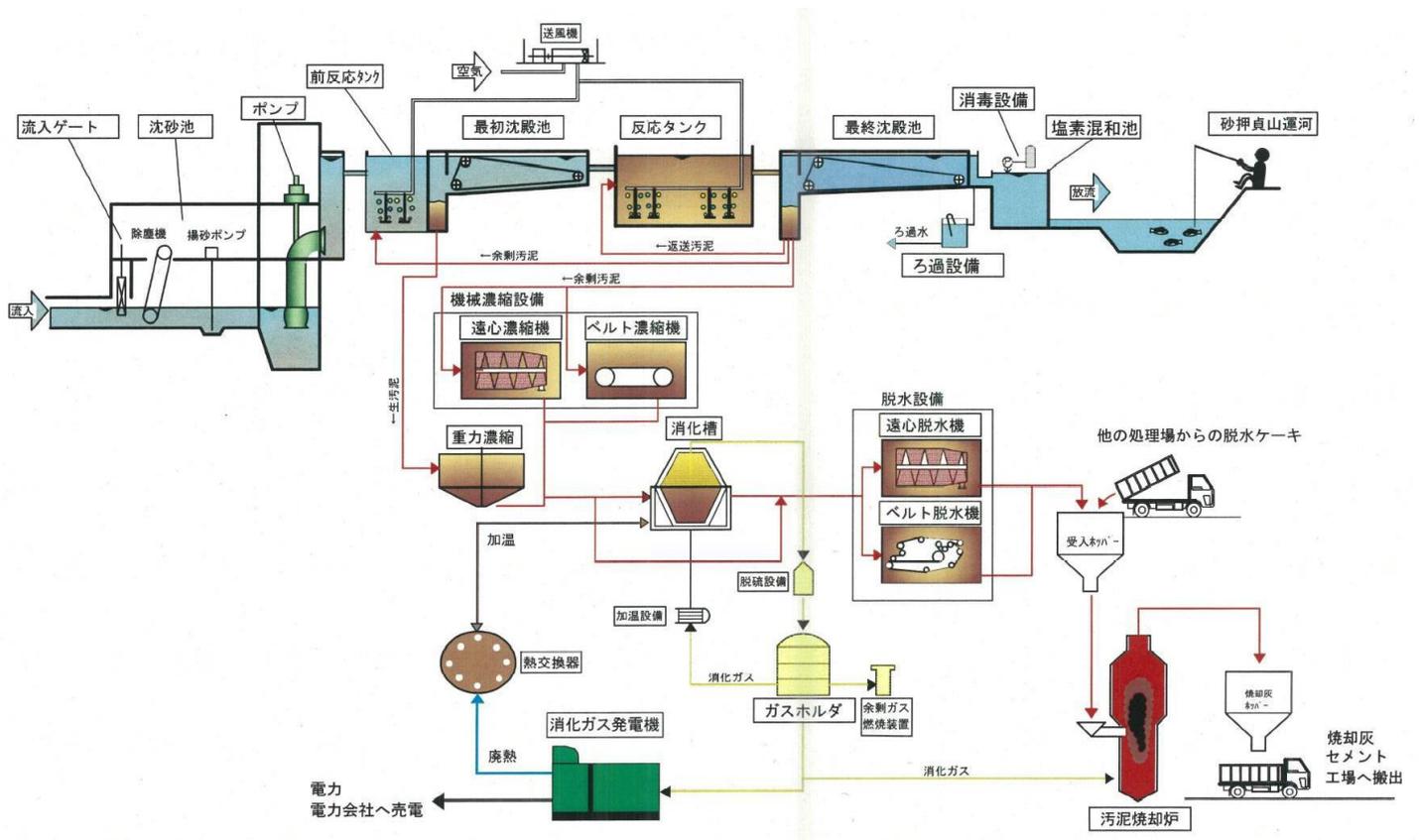
● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	53,145	七ヶ浜町	4,793
塩竈市	21,280	利府町	9,738
多賀城市	19,841	合計	108,797

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成30年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建設改良費	国庫補助金	45,054,137
	起 債	11,287,600
	他会計繰入金	1,443,526
	市町分担金	12,646,362
	その他	0
	合 計	70,431,625

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	264.1 m ³ (2 池)
	前反応タンク	2,268 m ³ ×2 系
		900 m ³ ×2 系
	最初沈殿池	13,962 m ³
	反応タンク	64,127 m ³
	最終沈殿池	29,183 m ³
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

④ 経営の状況

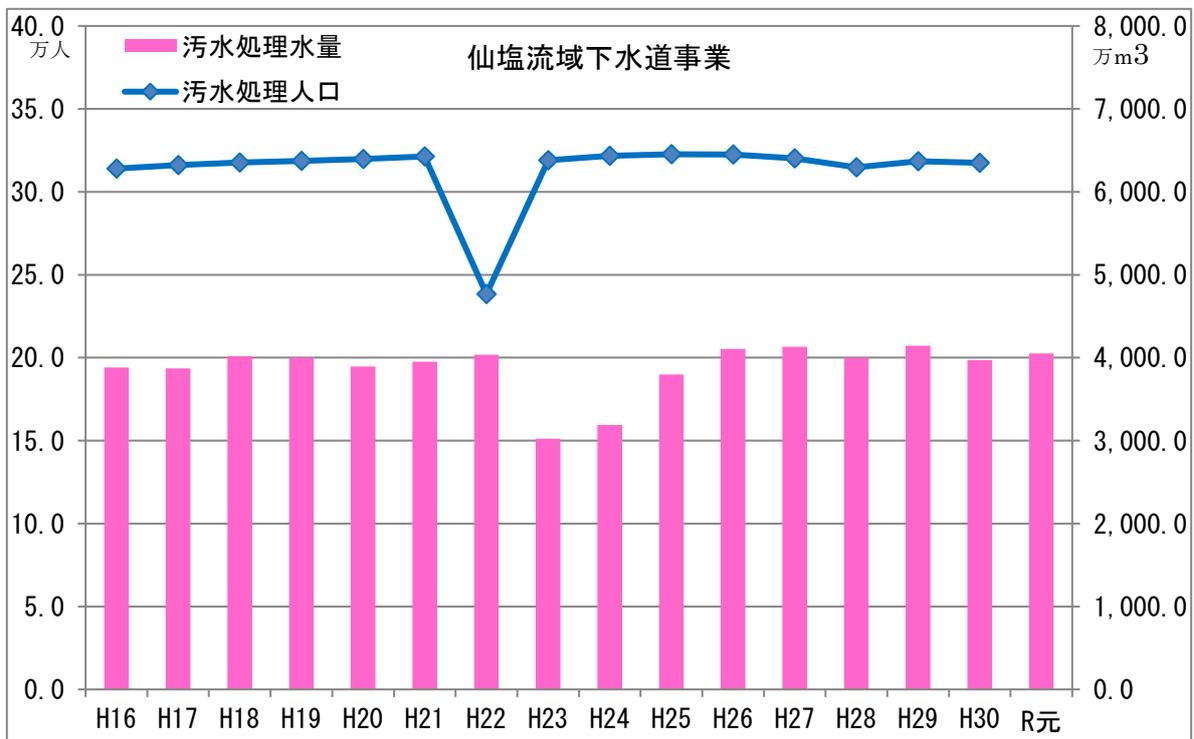
● 処理量等

年 度	H 28	H29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 $m^3/日$	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処理人口 人	318,254	315,250	317,556	集計中	—
C 処理水量 $m^3/年$	39,996,565	40,922,494	40,493,171	39,716,000	39,719,000
D 有収水量 $m^3/年$	39,996,565	40,922,494	40,493,171	39,716,000	39,719,000
E 1日平均処理量 m^3	109,580	110,939	110,941	108,514	108,819
F 1日最大処理量 m^3	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管渠費 千円	—	—	—	19,842	25,245
H ポンプ場費 千円	—	—	—	88,250	79,602
I 処理場費 千円	—	—	—	1,470,388	1,433,864

※ 消費税含まず。H28～30は決算ベース，R元は最終現計予算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負担金 千円	1,503,870	1,538,686	1,522,543	1,580,696	1,580,816
負担金単価 円/ m^3	38.0	38.0	38.0	39.8	39.8
汚水処理原価 円/ m^3	38.0	38.0	38.0		
汚水処理原価 (維持管理費) 円/ m^3	37.6	37.6	37.6		
汚水処理原価 (資本費) 円/ m^3	0.4	0.4	0.4		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

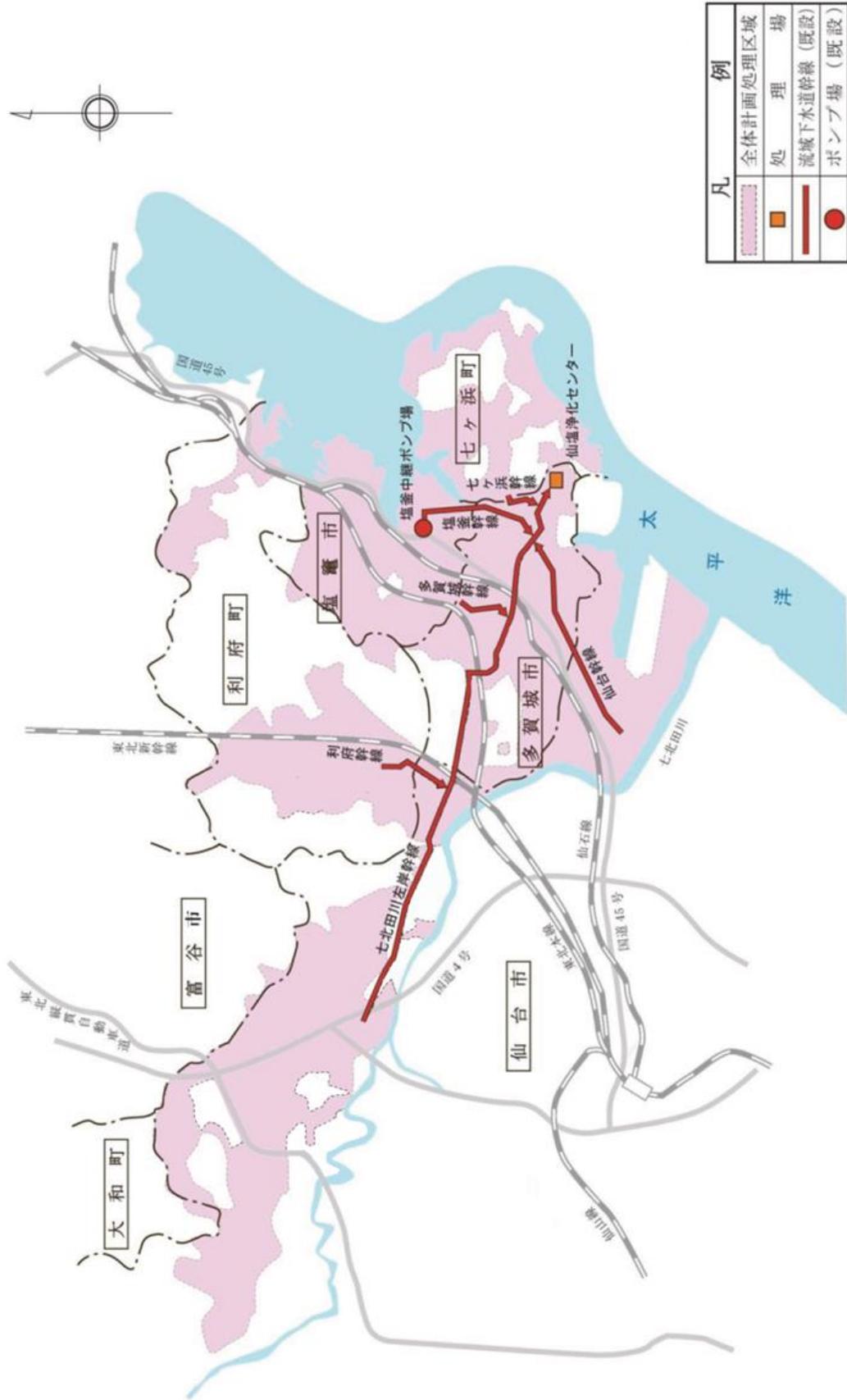
● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	1,580,696	1,580,816
	うち料金収入 千円	-	-	-	1,580,696	1,580,816
	営業外収益 千円	-	-	-	2,398,386	2,234,036
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	3,979,082	3,814,852
支出	営業費用 千円	-	-	-	3,921,986	3,654,749
	営業外費用 千円	-	-	-	117,797	106,231
	特別損失 千円	-	-	-	13,610	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	3,921,986	3,761,580
	計 千円	-	-	-	3,921,986	3,761,580
当年度純利益 千円		-	-	-	57,096	53,272

※ 消費税を含む。R2 は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30 は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

仙塩流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

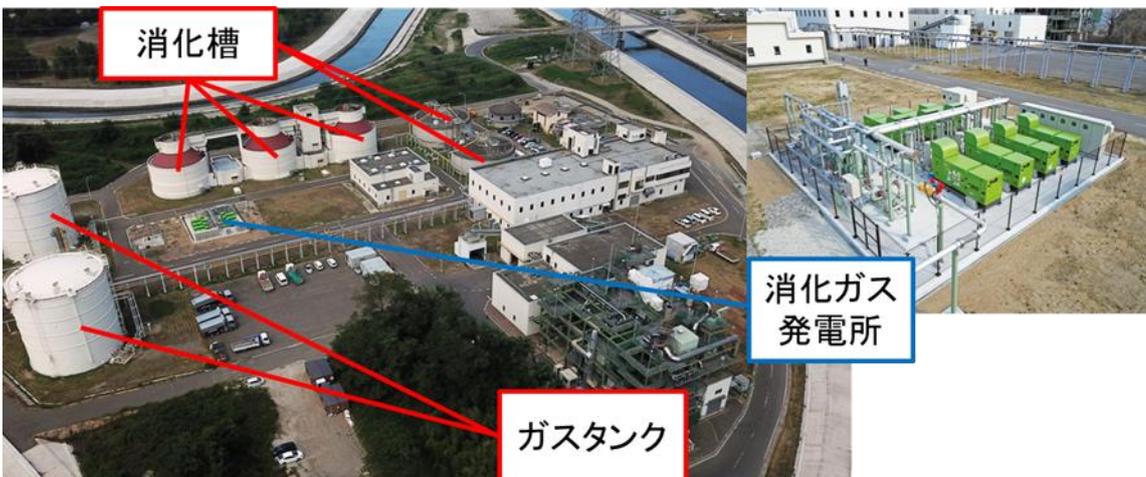
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス（メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス）のうち、約70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していたが、残る30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気を固定価格買取制度（FIT）を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所 (民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内 (多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW (50 kW×7台)
- ・発電電力量 約200万 kWh/年 (一般家庭約440世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 560,920円
- ・消化ガス売却収入 約4億円 (20年間)
- ・工事着工 平成29年6月1日
- ・稼働開始 平成30年4月1日
- ・事業期間 発電開始から20年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町（仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亘理町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は89.9kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は305.9千人、下水道処理人口普及率は81.6%に達しています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	31,777,000 m ³
日平均処理汚水量	87,060 m ³

● 阿武隈川下流流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,121.8ha	10,237.8ha	8,581.8ha
処理人口	291,312人	297,494人	305,976人
処理能力	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日
系列数	5	5	4.5
管渠延長	106,865m	90,710m	89,971m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

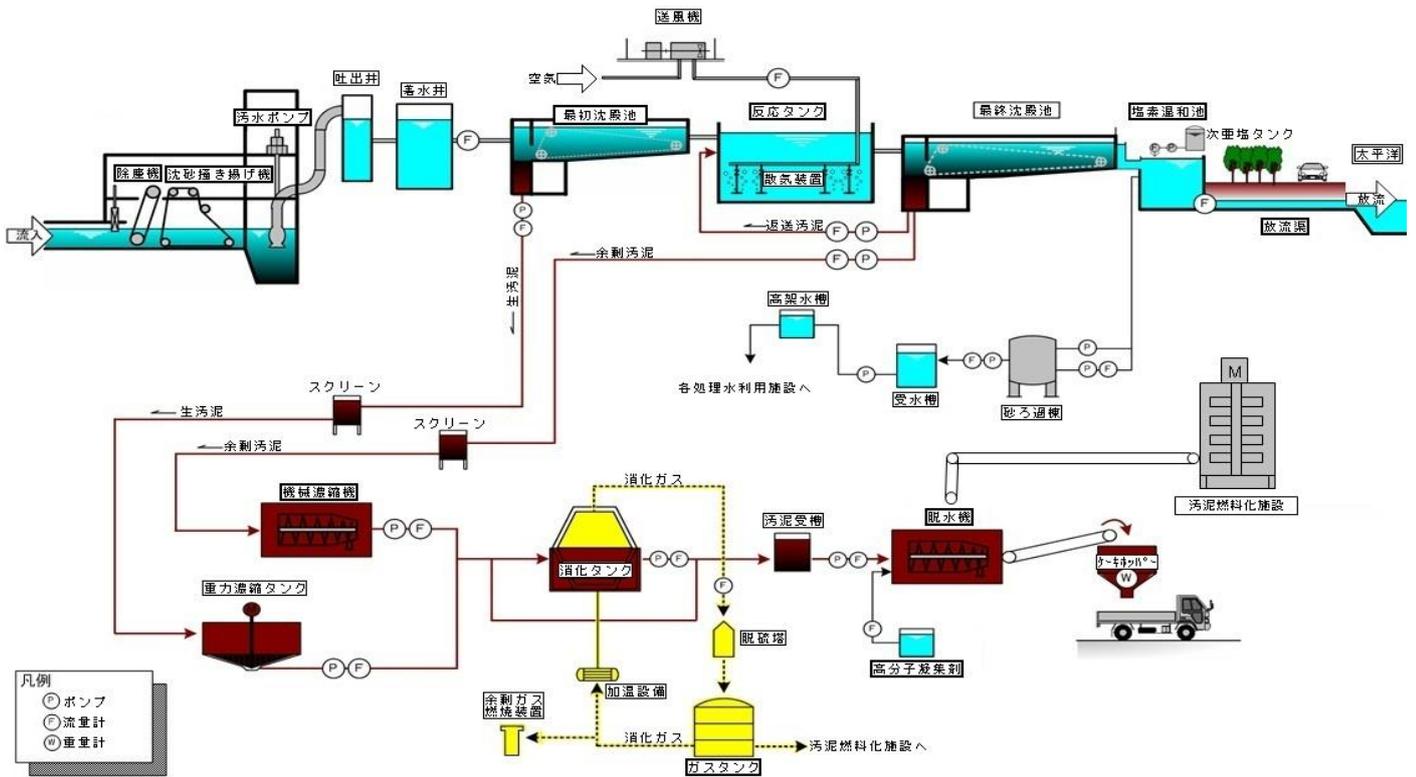
● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	16,419	大河原町	5,095
白石市	7,555	村田町	1,771
名取市	21,988	柴田町	9,729
角田市	3,986	丸森町	1,121
岩沼市	12,506	亘理町	6,357
蔵王町	1,531	合計	88,058

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成30年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建設改良費	国庫補助金	59,347,357
	起 債	16,323,082
	他会計繰入金	3,220,706
	市町分担金	19,447,364
	その他	0
	合 計	98,338,509

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第2水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,546 m ³
	反応タンク	42,842 m ³
	最終沈殿池	21,179 m ³
	塩素混和池	1,362 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 基
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

④ 経営の状況

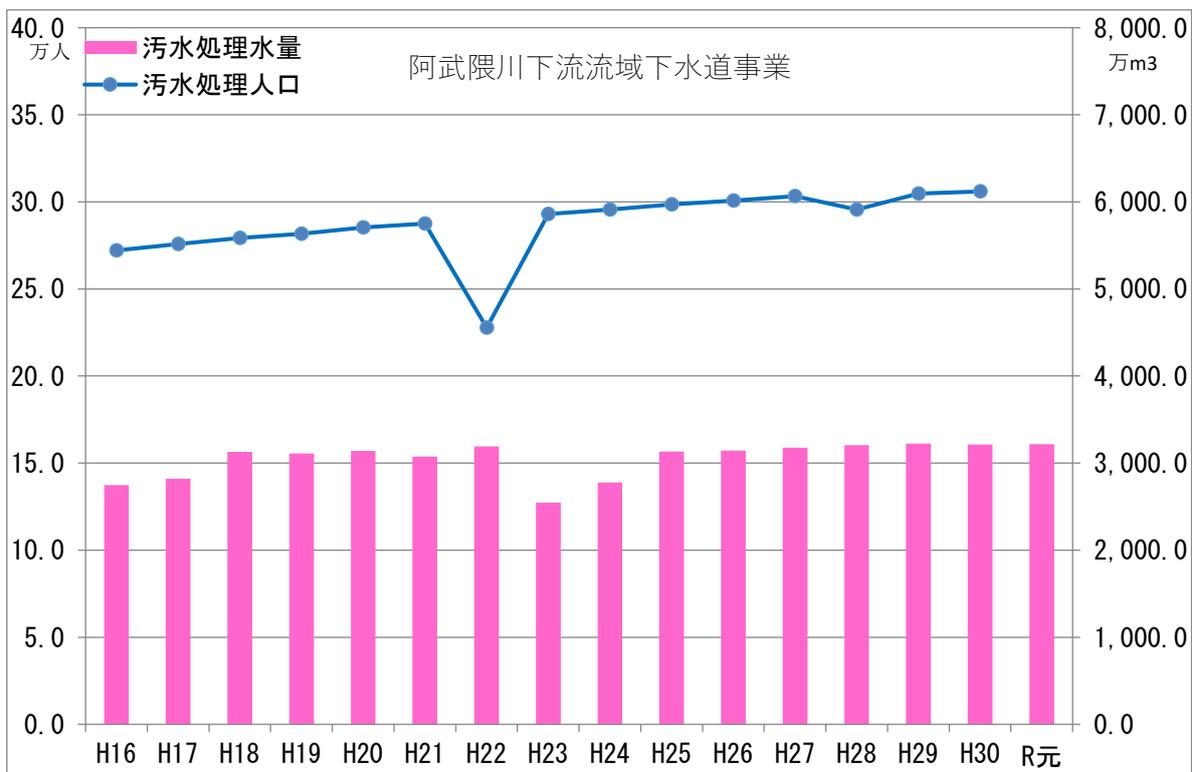
● 処理量等

年 度	H28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 m ³ /日	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処理人口 人	303,851	304,816	305,976	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	32,072,058	32,244,164	32,154,896	31,641,000	31,777,000
D 有効水量 m ³ /年	32,072,058	32,244,164	32,154,896	31,641,000	31,777,000
E 1日平均処理量 m ³	87,869	88,341	88,096	86,688	87,060
F 1日最大処理量 m ³	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管渠費 千円	—	—	—	54,072	24,527
H ポンプ場費 千円	—	—	—	160,929	184,202
I 処理場費 千円	—	—	—	1,270,974	1,317,744

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	H31
負担金 千円	1,500,972	1,509,027	1,504,849	1,534,588	1,541,184
負担金単価 円/m ³	47.4	47.4	47.4	48.5	48.5
汚水処理原価 円/m ³	47.4	47.4	47.4		
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	46.8	46.8	46.8		
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.6	0.6	0.6		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

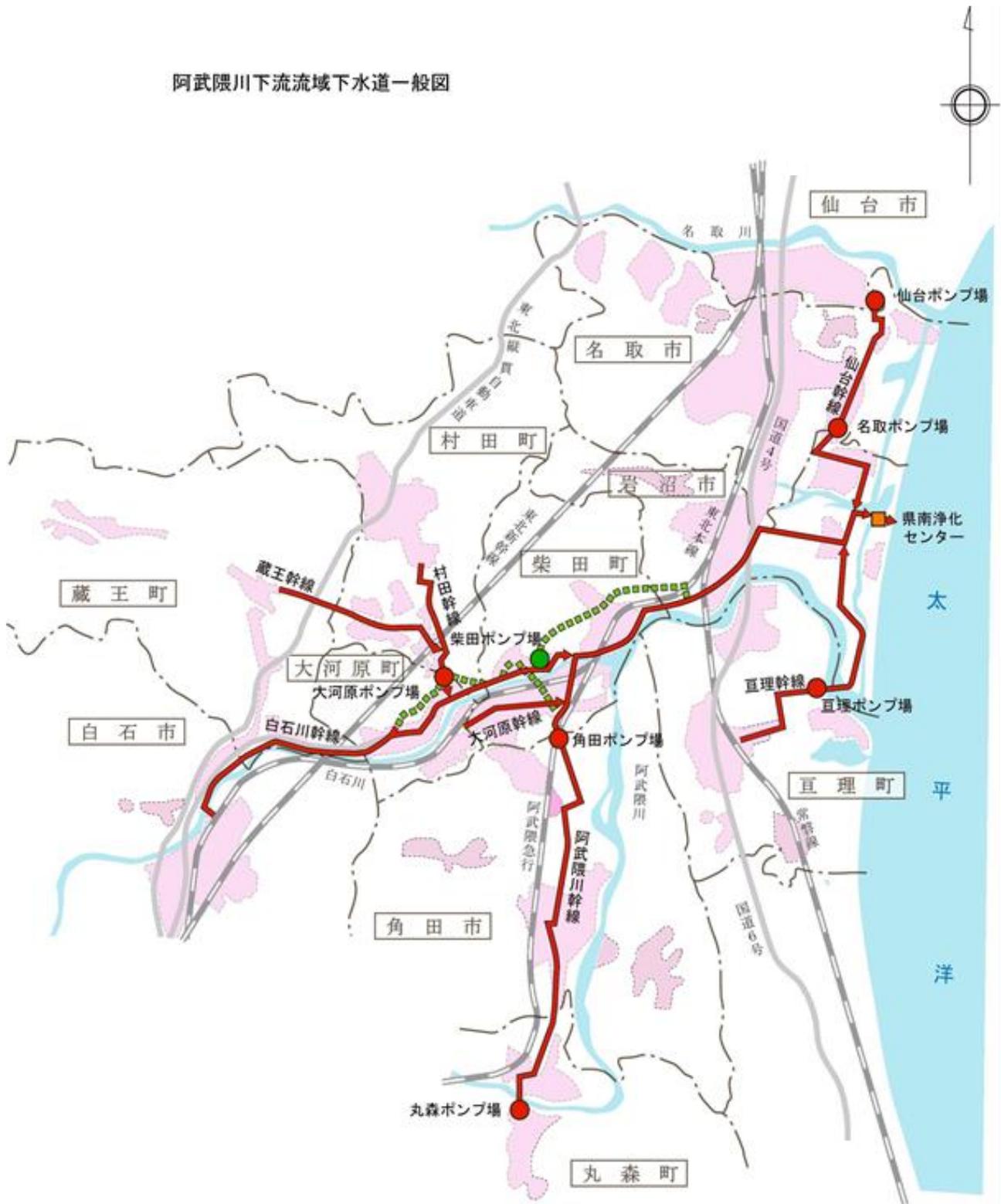
● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	1,534,588	1,541,184
	うち料金収入 千円	-	-	-	1,534,588	1,541,184
	営業外収益 千円	-	-	-	3,241,073	3,071,231
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	4,775,661	4,612,415
支出	営業費用 千円	-	-	-	4,491,304	4,511,296
	営業外費用 千円	-	-	-	106,931	93,071
	特別損失 千円	-	-	-	21,099	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	4,620,022	4,605,067
	計 千円	-	-	-	4,620,022	4,605,067
当年度純利益 千円		-	-	-	155,639	7,348

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

阿武隈川下流域下水道一般図



凡 例	
	全体計画処理区域
	処 理 場
	流域下水道幹線 (既設)
	流域下水道幹線 (計画)
	ポンプ場 (既設)
	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1市1町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和56年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は21.1kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は27千人、下水道処理人口普及率は54.0%に達しています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	2,475,000 m ³
日平均処理汚水量	6,781 m ³

● 鳴瀬川流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	16,432ha		
処理面積	1,569.93ha	1,388.49ha	1,046.8ha
処理人口	29,650人	29,650人	27,036人
処理能力	11,100 m ³ /日	11,100 m ³ /日	8,800 m ³ /日
系列数	6	6	5
管渠延長	21,130m	21,130m	21,158m
ポンプ場	5箇所	5箇所	5箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

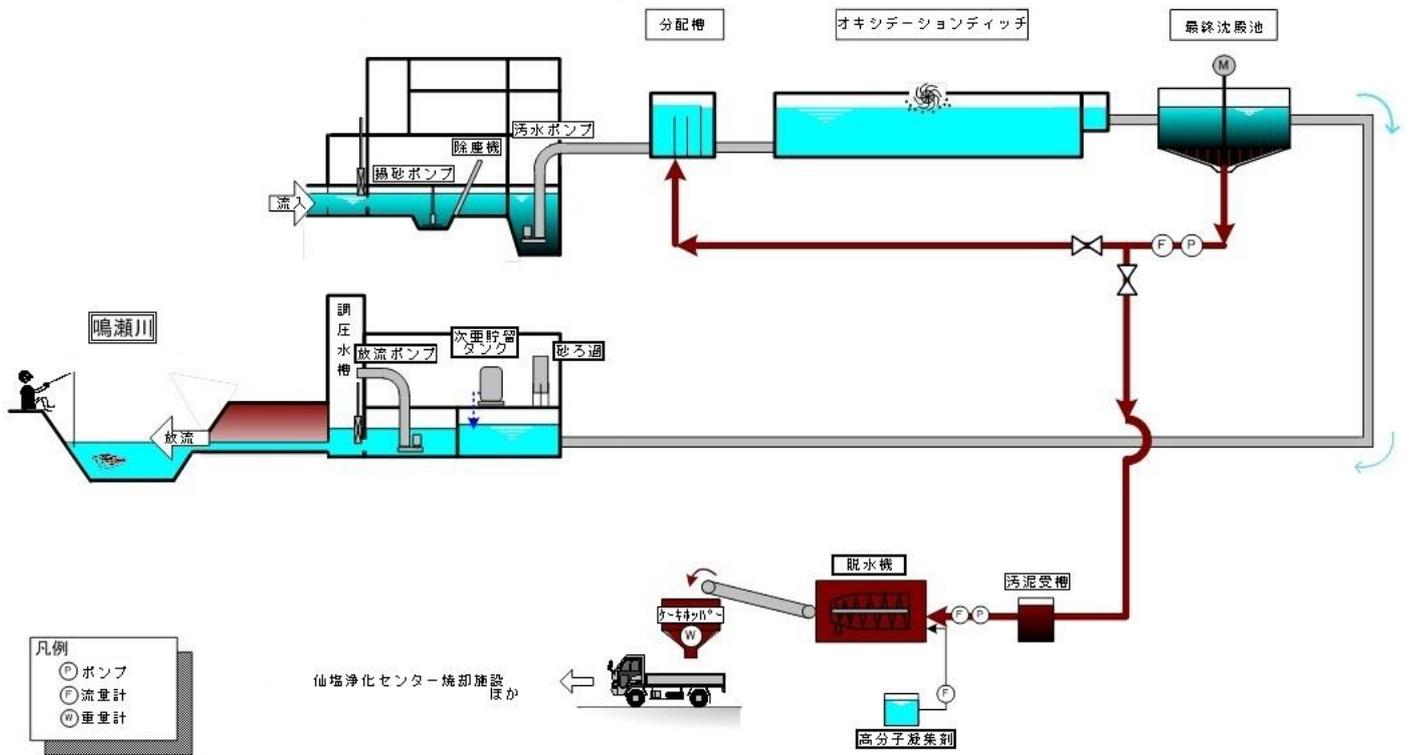
● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
大崎市	4,418
美里町	2,074
合計	6,492

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	昭和56年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	昭和57年3月2日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成 30 年度末まで) (単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,234,809
	起 債	2,576,500
	他会計繰入金	520,215
	市町分担金	5,374,057
	そ の 他	0
	合 計	18,705,581

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッ チ	8,788 m ³
	最終沈殿池	8,800 m ³
	塩素注入施設	1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場 松山第 2 中継ポンプ場 鹿島台中継ポンプ場 小牛田ポンプ場 三本木ポンプ場	

④ 経営の状況

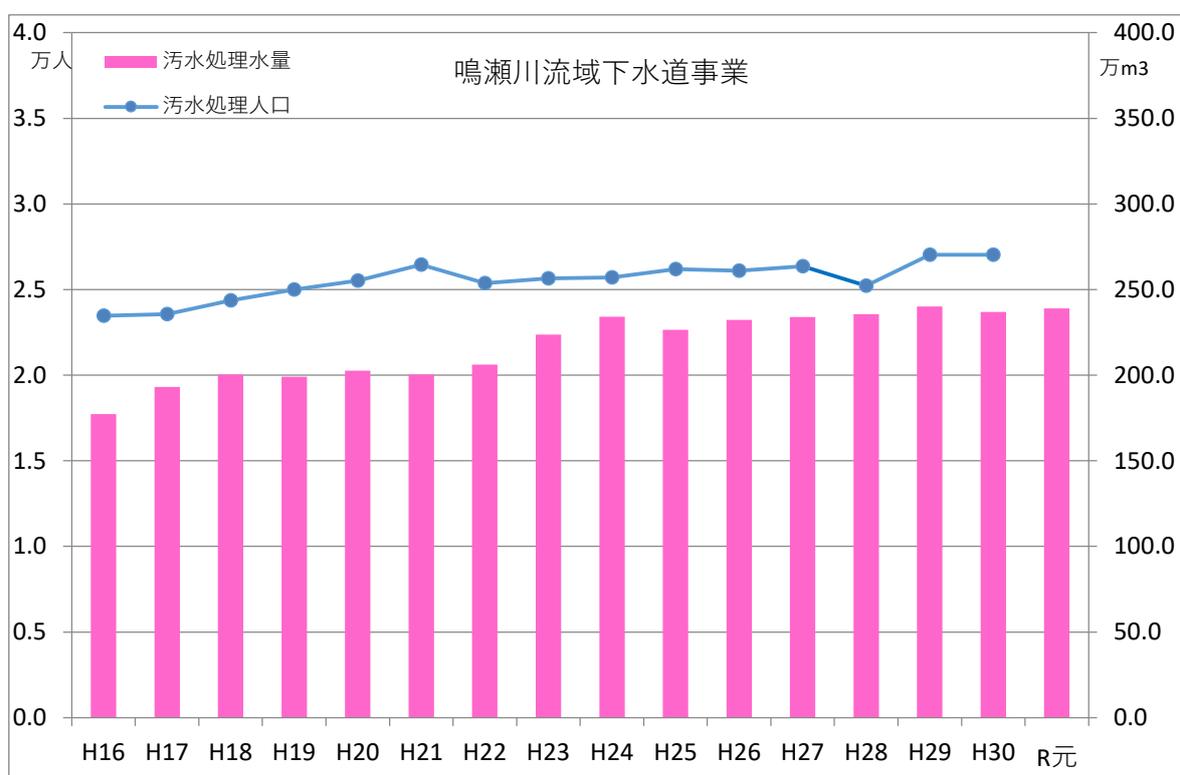
● 処理量等

年 度	H28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 m ³ /日	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処理人口 人	26,903	27,026	27,036	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	2,355,806	2,365,724	2,390,616	2,450,000	2,475,000
D 有収水量 m ³ /年	2,355,806	2,365,724	2,390,616	2,450,000	2,475,000
E 1日平均処理量 m ³	6,455	6,482	6,550	6,713	6,781
F 1日最大処理量 m ³	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管渠費 千円	—	—	—	13,751	10,594
H ポンプ場費 千円	—	—	—	34,503	40,999
I 処理場費 千円	—	—	—	167,773	166,691

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負 担 金 千円	238,172	239,175	241,691	198,695	200,722
負 担 金 単 価 円/m ³	101.9	101.9	101.9	81.1	81.1
汚 水 処 理 原 価 円/m ³	101.9	101.9	101.9		
汚 水 処 理 原 価 (維持管理費) 円/m ³	101.1	101.1	101.1		
汚 水 処 理 原 価 (資本費) 円/m ³	0.8	0.8	0.8		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

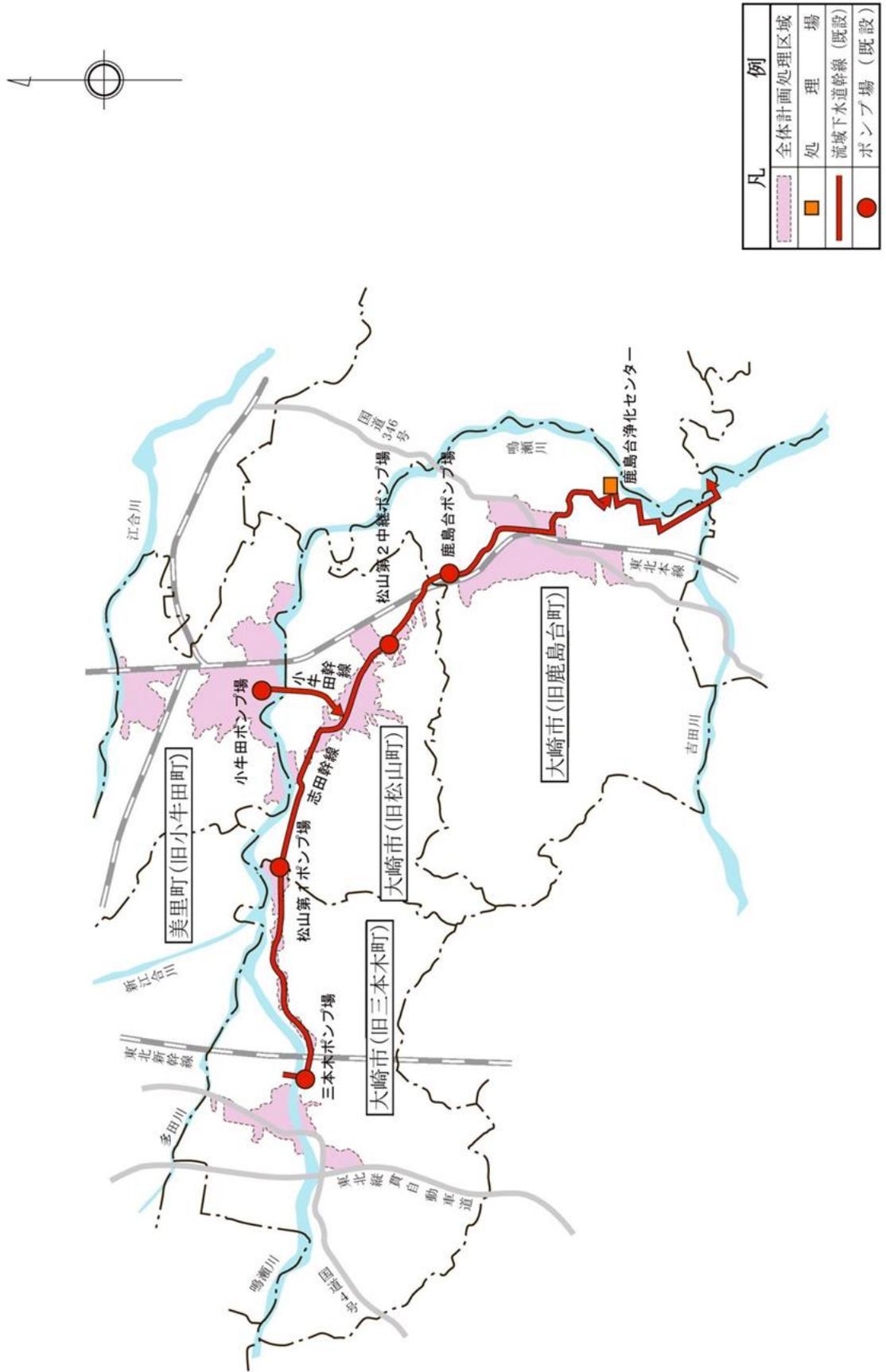
● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	198,695	200,722
	うち料金収入 千円	-	-	-	198,695	200,722
	営業外収益 千円	-	-	-	582,716	501,603
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	781,411	702,325
支出	営業費用 千円	-	-	-	674,388	634,687
	営業外費用 千円	-	-	-	50,465	45,758
	特別損失 千円	-	-	-	606	19,502
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	725,721	700,247
	計 千円	-	-	-	725,721	700,247
当年度純利益 千円		-	-	-	55,690	2,078

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村（富谷市・大和町・大郷町・大衡村）から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.1kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は79.7千人、下水道処理人口普及率は86.8%に達しています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	10,876,000 m ³
日平均処理汚水量	29,797 m ³

● 吉田川流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,330.0ha	3,349.9ha	3,035.5ha
処理人口	84,655人	81,788人	79,738人
処理能力	54,800 m ³ /日	54,800 m ³ /日	41,825 m ³ /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,186m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

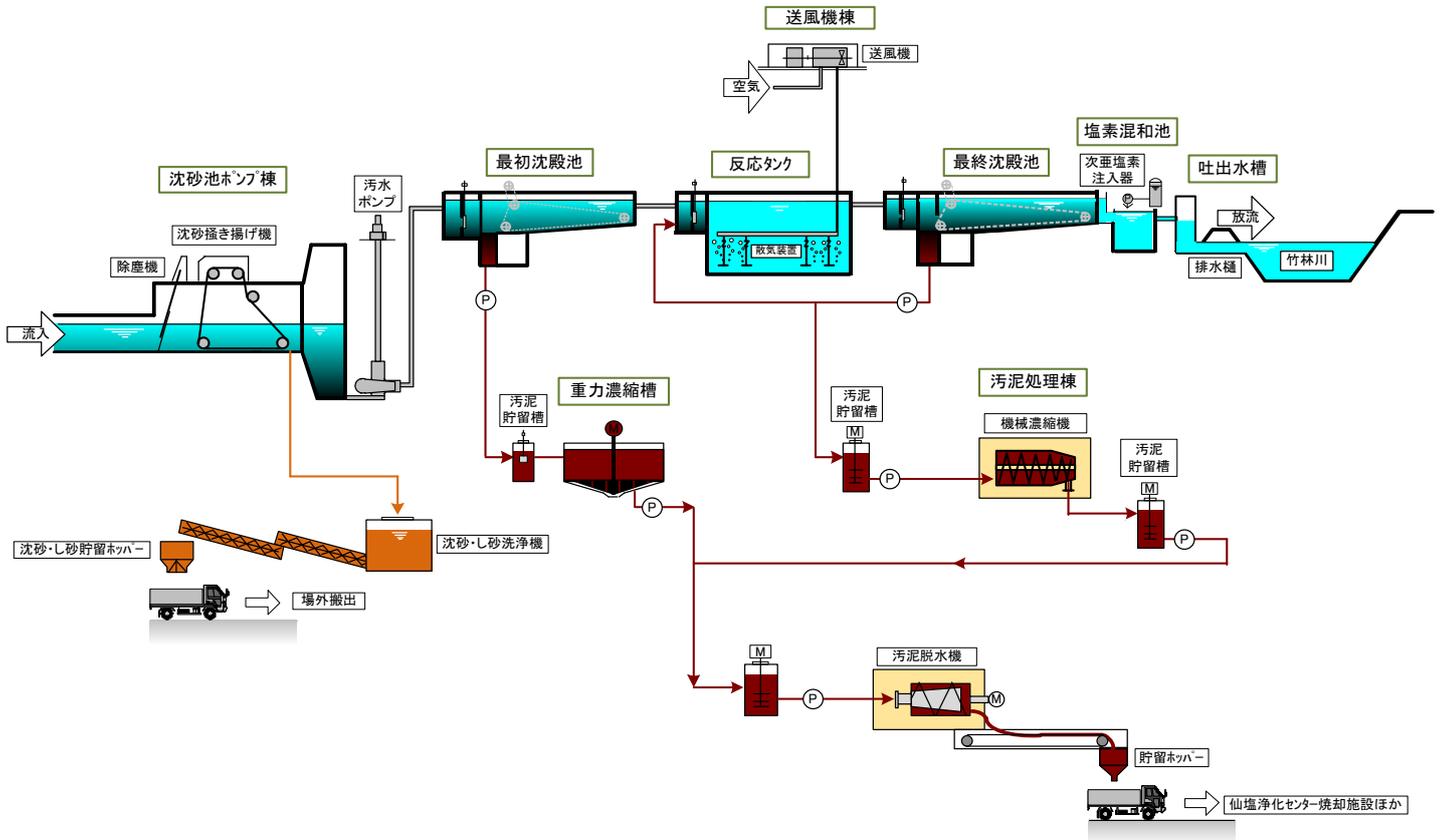
● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	14,949	大衡村	2,494
大和町	11,039	合計	29,730
大郷町	1,248		

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成30年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	18,781,048
	起 債	3,552,037
	他会計繰入金	2,507,085
	市町分担金	5,669,797
	そ の 他	0
	合 計	30,509,967

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	26.68 m ³ (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m ³
	反応タンク	14,154 m ³
	最終沈殿池	4,914 m ³
	塩素混和池	574 m ³
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

④ 経営の状況

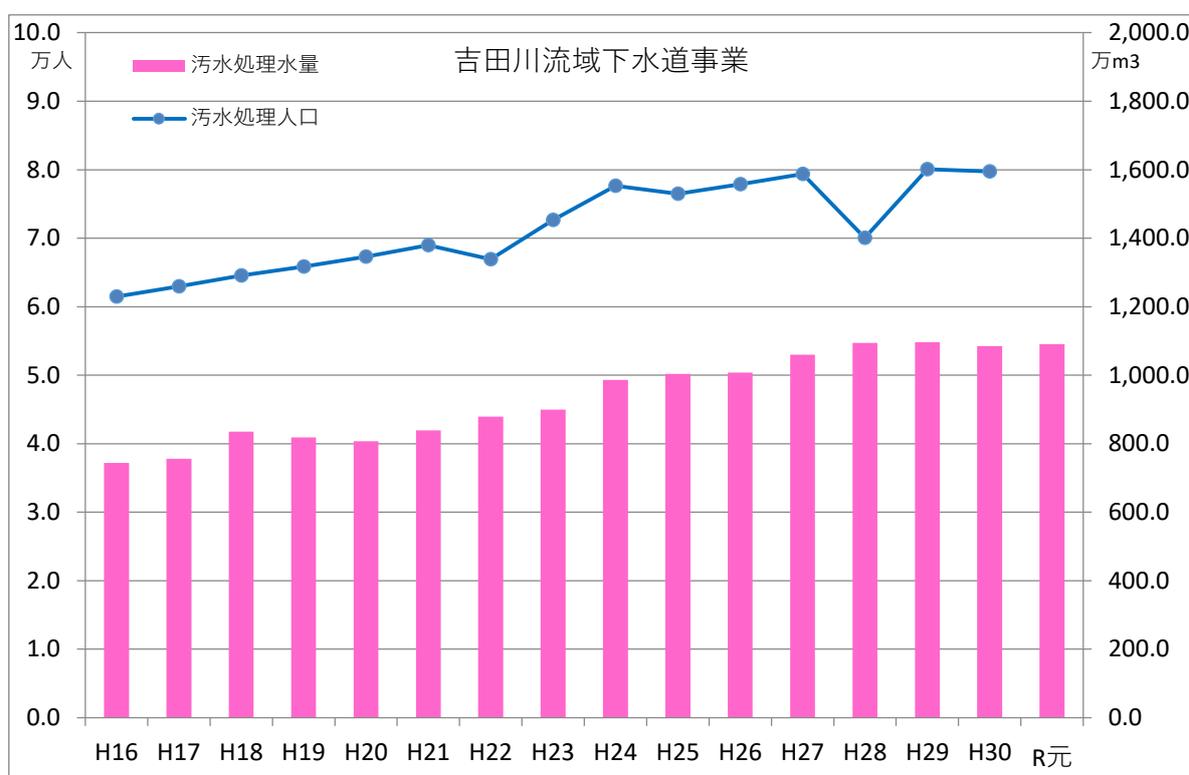
● 処理量等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 m ³ /日	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処理人口 人	79,180	80,066	79,738	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	10,946,637	10,835,712	10,906,349	10,857,000	10,876,000
D 有効水量 m ³ /年	10,946,637	10,835,712	10,906,349	10,857,000	10,876,000
E 1日平均処理量 m ³	29,991	29,687	29,881	29,746	29,797
F 1日最大処理量 m ³	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管渠費 千円	—	—	—	13,999	17,743
H ポンプ場費 千円	—	—	—	37,454	50,838
I 処理場費 千円	—	—	—	519,973	525,871

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負 担 金 千円	590,024	584,045	587,852	518,964	519,872
負 担 金 単 価 円/m ³	54.4	54.4	54.4	47.8	47.8
汚 水 処 理 原 価 円/m ³	54.4	54.4	54.4		
汚 水 処 理 原 価 (維持管理費) 円/m ³	53.9	53.9	53.9		
汚 水 処 理 原 価 (資本費) 円/m ³	0.5	0.5	0.5		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

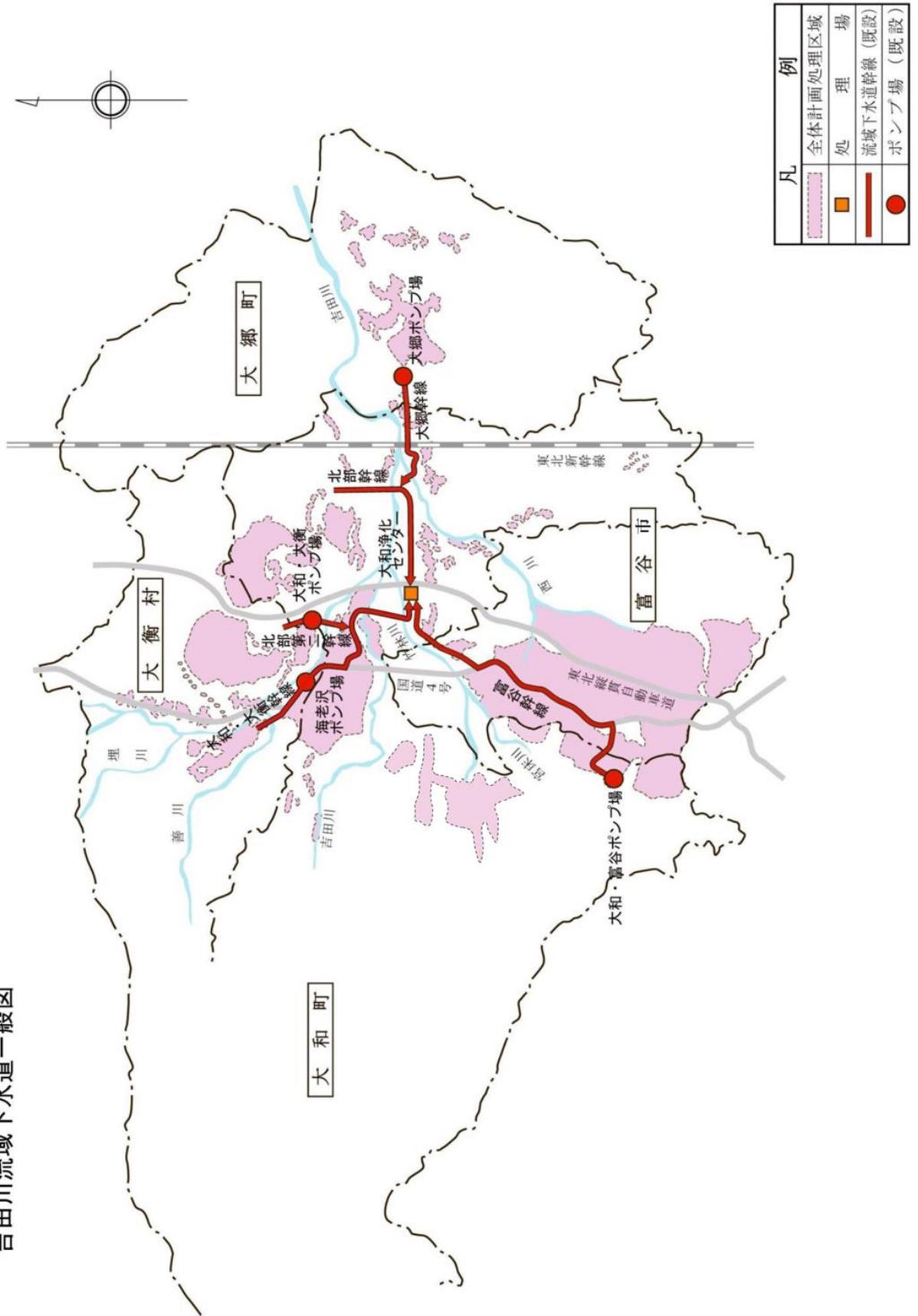
● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	518,964	519,872
	うち料金収入 千円	-	-	-	518,964	519,872
	営業外収益 千円	-	-	-	903,166	903,570
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	1,422,080	1,423,442
支 出	営業費用 千円	-	-	-	1,302,090	1,323,496
	営業外費用 千円	-	-	-	38,259	46,785
	特別損失 千円	-	-	-	16,883	17,252
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	1,357,742	1,388,133
	計 千円	-	-	-	1,357,742	1,388,133
当年度純利益 千円		-	-	-	64,338	35,309

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市（石巻市・東松島市）から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は89.9千人、下水道処理人口普及率は69.5%となっています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,034,000 m ³
日平均処理汚水量	19,271 m ³

● 流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,560.3ha	2,943.3ha	2,318.2ha
処理人口	104,600人	104,490人	89,970人
処理能力	48,500 m ³ /日	38,800 m ³ /日	38,800 m ³ /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和2年度	-

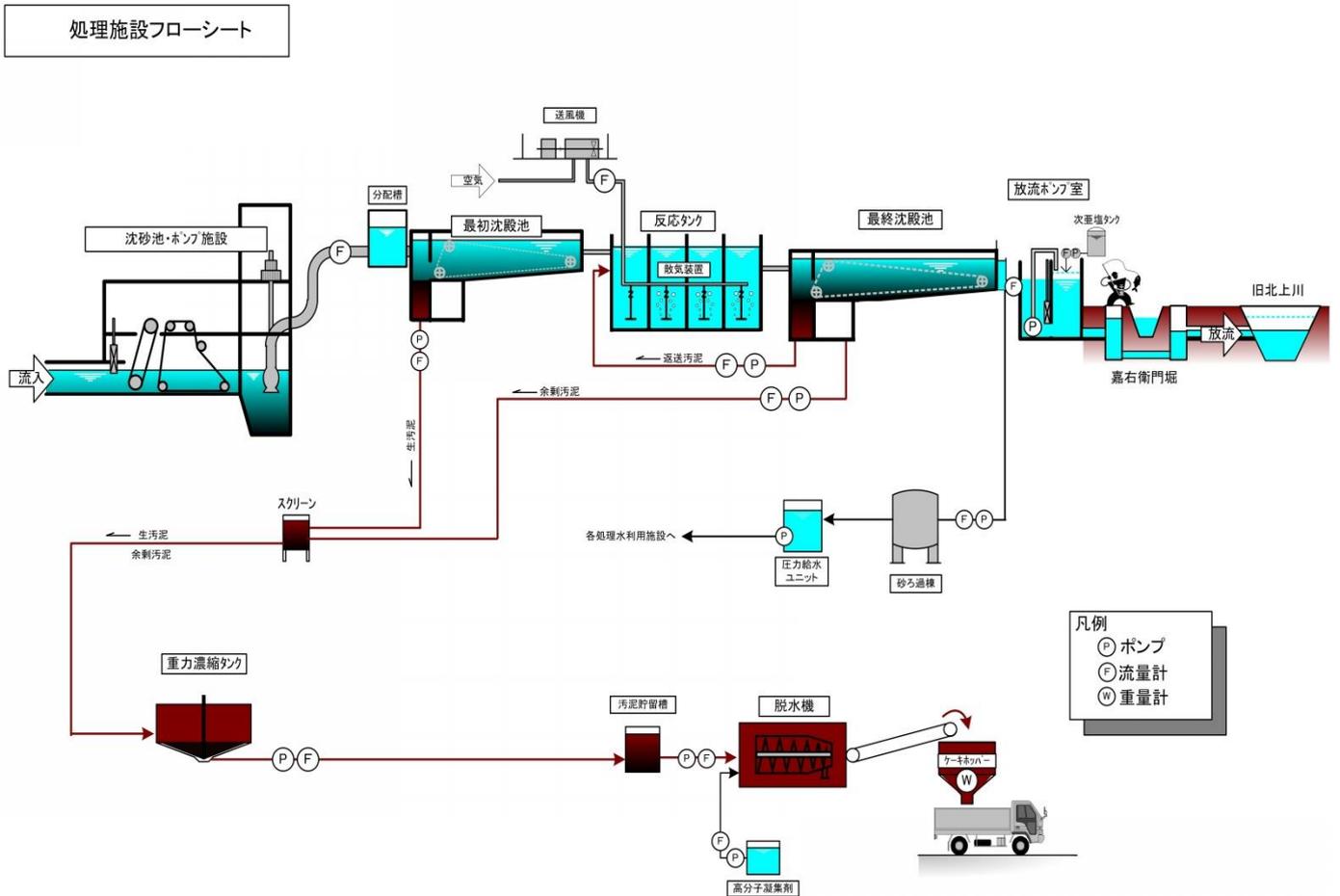
● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
石巻市	12,951
東松島市	7,816
合計	20,767

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	平成30年11月16日
認可完了予定年月日	令和3年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費 (～平成30年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建設改良費	国庫補助金	19,038,941
	起 債	6,526,495
	他会計繰入金	1,101,912
	市町分担金	7,607,518
	そ の 他	0
	合 計	34,274,866

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟 (送風機, 自家発電機)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	1,760 m ³
	反応タンク	9,945 m ³
	最終沈殿池	4,617 m ³
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

④ 経営の状況

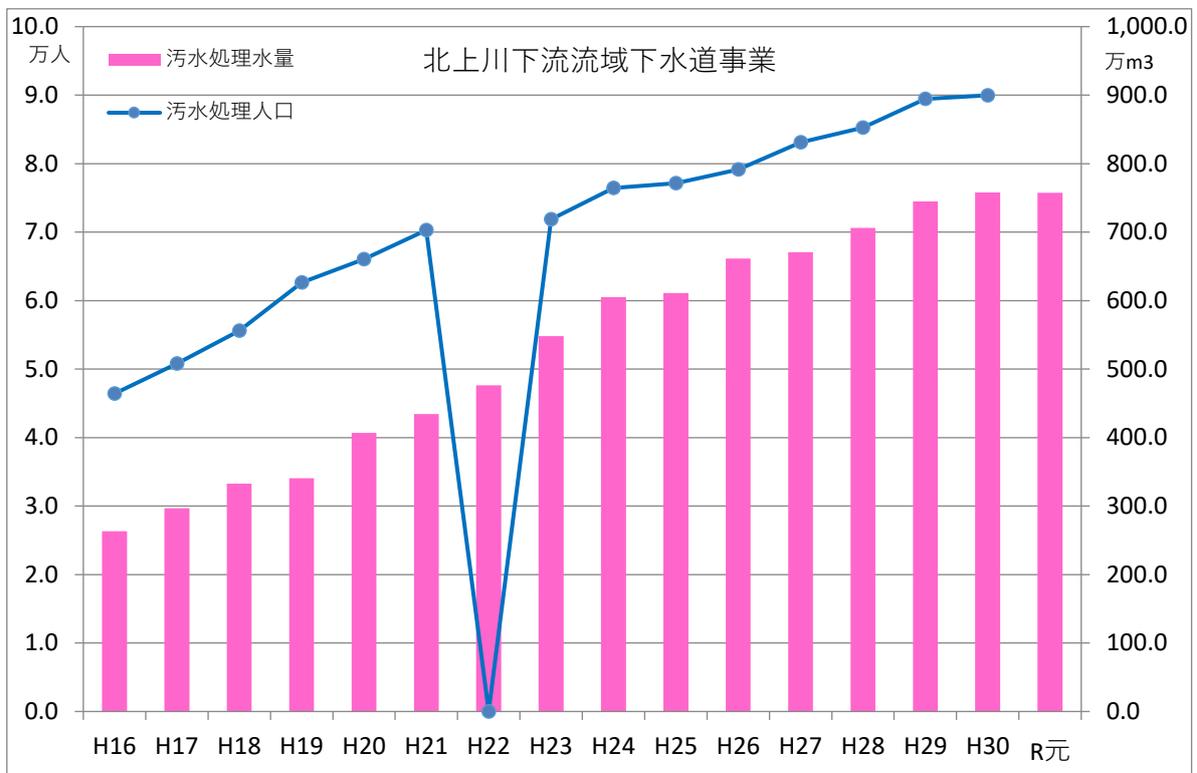
● 処理量等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 $m^3/日$	29,100	29,100	38,800	38,800	38,800
B 処理人口 人	85,246	86,453	89,970	集計中	—
C 処理水量 $m^3/年$	7,062,330	7,373,079	7,574,069	7,047,000	7,034,000
D 有収水量 $m^3/年$	7,062,330	7,373,079	7,574,069	7,047,000	7,034,000
E 1日平均処理量 m^3	19,349	20,200	20,751	19,307	19,271
F 1日最大処理量 m^3	29,100	29,100	38,800	38,800	38,800
G 管渠費 千円	—	—	—	21,046	8,576
H ポンプ場費 千円	—	—	—	10,101	20,754
I 処理場費 千円	—	—	—	476,301	504,996

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負担金 千円	452,695	472,614	485,497	565,874	564,830
負担金単価 $円/m^3$	65.2	65.2	65.2	80.3	80.3
汚水処理原価 $円/m^3$	65.2	65.2	65.2		
汚水処理原価 (維持管理費) $円/m^3$	64.1	64.1	64.1		
汚水処理原価 (資本費) $円/m^3$	1.1	1.1	1.1		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	565,874	564,830
	うち料金収入 千円	-	-	-	565,874	564,830
	営業外収益 千円	-	-	-	998,529	997,793
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	1,564,403	1,562,623
支 出	営業費用 千円	-	-	-	1,250,198	1,289,338
	営業外費用 千円	-	-	-	87,038	87,381
	特別損失 千円	-	-	-	70,969	69,374
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	1,408,562	1,446,493
	計 千円	-	-	-	1,408,562	1,446,493
当年度純利益 千円		-	-	-	155,841	116,130

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町（石巻市・女川町）から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用（旧石巻市公共下水道分）を開始しました。現在の管渠は43.4kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は42.5千人、下水道処理人口普及率は84.2%に達しています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,323,000 m ³
日平均処理汚水量	11,844 m ³

● 北上川下流東部流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,855.3ha	1,744.1ha	1,396.3ha
処理人口	38,100人	43,510人	42,580人
処理能力	25,300 m ³ /日	25,300 m ³ /日	25,300 m ³ /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,530m	43,530m	43,472m
ポンプ場	18箇所	18箇所	17箇所
計画目標年度	令和17年度	令和2年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

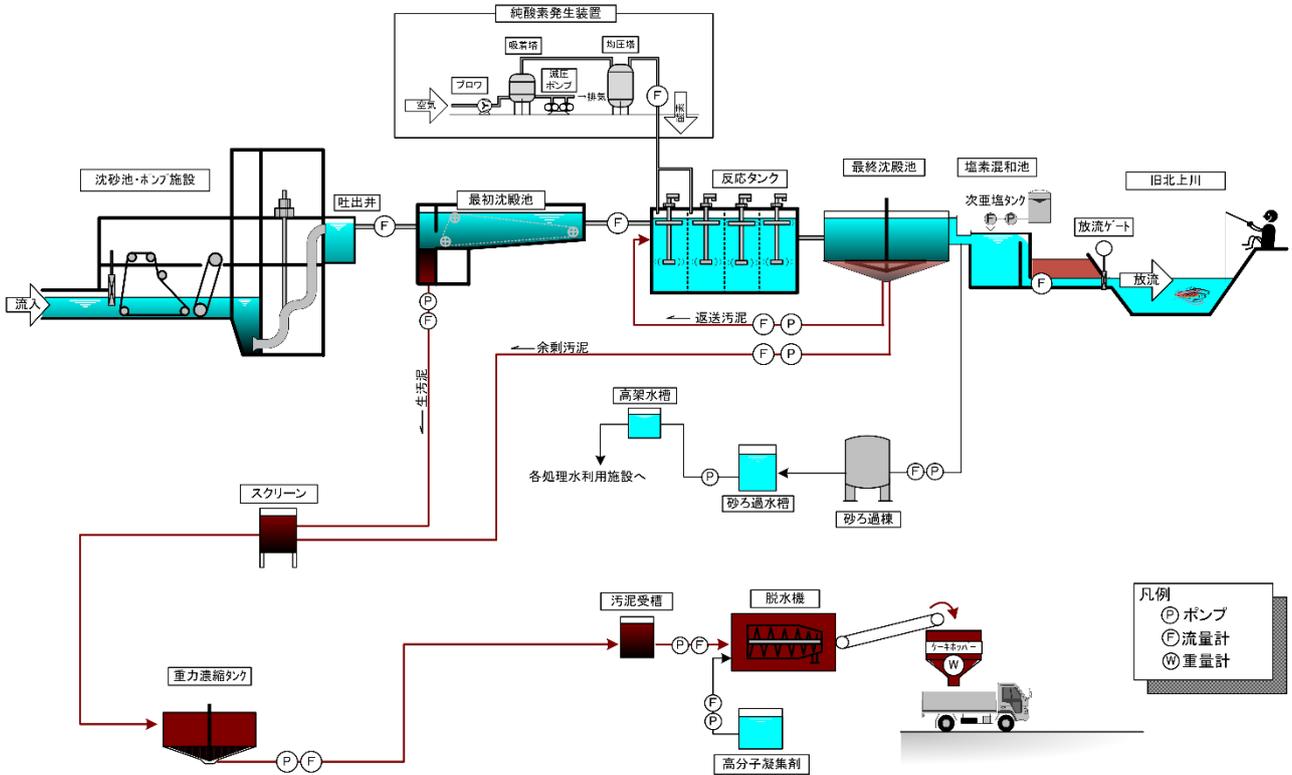
市町村名	汚水量
石巻市	9,877
女川町	1,412
合計	11,289

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	平成30年11月16日
認可完了予定年月日	令和3年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費 (～平成30年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過年度実績額
建 設 改 良 費	国庫補助金	11,256,463
	起 債	4,751,000
	他会計繰入金	319,461
	市町分担金	5,065,695
	そ の 他	0
	合 計	21,392,619

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟 (自家発電機)	1 棟
	ポンプ棟	1 棟
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	2,113 m ³
	反応タンク	7,382 m ³
	最終沈殿池	6,477 m ³
	砂ろ過棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	桃生第 1 ポンプ場 桃生第 2 ポンプ場 桃生第 3 ポンプ場 河北第 1 ポンプ場 河北第 2 ポンプ場 河北第 3 ポンプ場 河北第 4 ポンプ場 河北第 5 ポンプ場 石巻第 1 ポンプ場 石巻第 2 ポンプ場 石巻第 2-1 ポンプ場 石巻第 2-2 ポンプ場 女川第 1 ポンプ場 女川第 2 ポンプ場 石巻第 4 ポンプ場 石巻第 5 ポンプ場 石巻第 6 ポンプ場	

④ 経営の状況

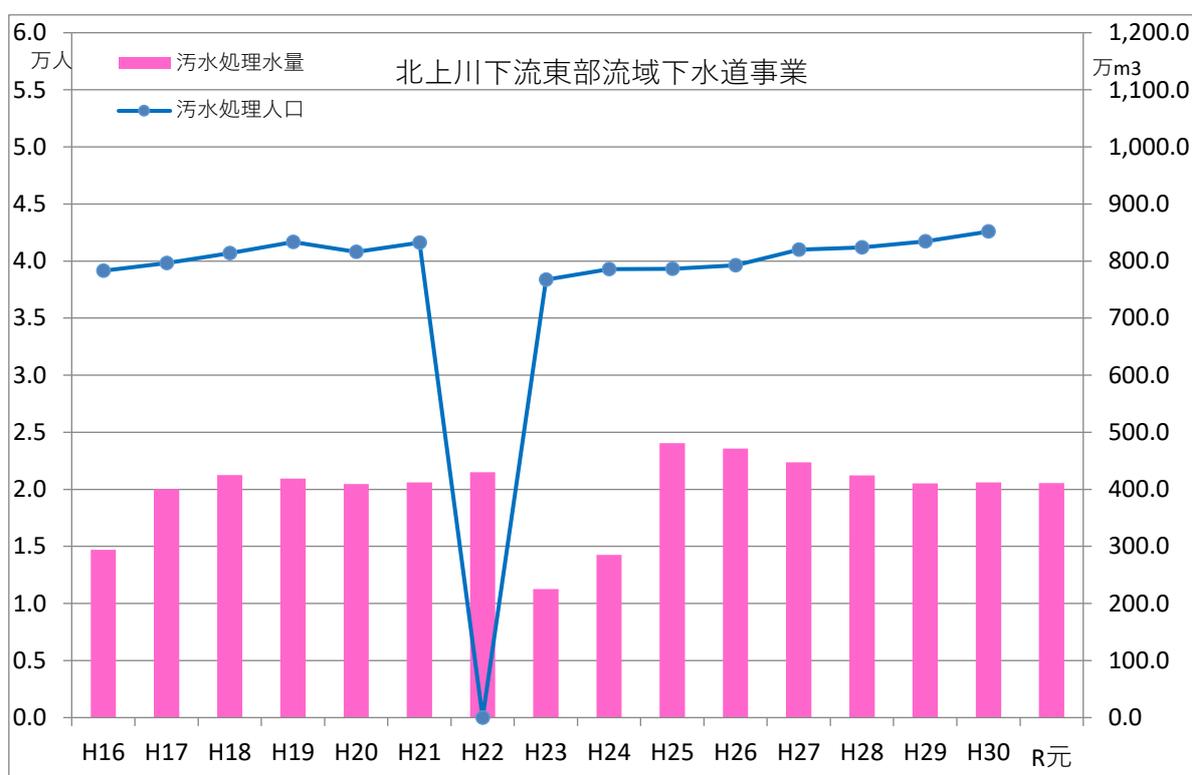
● 処理量等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 m ³ /日	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処理人口 人	41,180	41,708	42,580	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	4,243,122	4,092,685	4,111,417	4,331,000	4,323,000
D 有効水量 m ³ /年	4,243,122	4,092,685	4,111,417	4,331,000	4,323,000
E 1日平均処理量 m ³	11,625	11,213	11,265	11,866	11,844
F 1日最大処理量 m ³	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管渠費 千円	—	—	—	14,607	16,303
H ポンプ場費 千円	—	—	—	78,261	61,486
I 処理場費 千円	—	—	—	429,497	456,165

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負担金 千円	544,393	525,091	527,494	544,839	543,833
負担金単価 円/m ³	130.0	130.0	130.0	125.8	125.8
汚水処理原価 円/m ³	130.0	130.0	130.0		
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	128.3	128.3	128.3		
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.7	1.7	1.7		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	544,839	543,833
	うち料金収入 千円	-	-	-	544,839	543,833
	営業外収益 千円	-	-	-	1,318,035	1,295,306
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	1,862,874	1,839,139
支 出	営業費用 千円	-	-	-	1,788,546	1,724,039
	営業外費用 千円	-	-	-	54,588	68,730
	特別損失 千円	-	-	-	7,968	9,768
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	1,851,467	1,802,937
	計 千円	-	-	-	1,851,467	1,802,937
当年度純利益 千円		-	-	-	11,407	36,202

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市（栗原市・登米市）から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、平成30年度末の処理区域人口は28.2千人、下水道処理人口普及率は43.7%となっています。

● 令和2年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,426,000 m ³
日平均処理汚水量	6,647 m ³

● 迫川流域計画一覧表（平成31年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,705.7ha	1,389.0ha
処理人口	24,400人	25,261人	28,275人
処理能力	14,475 m ³ /日	14,475 m ³ /日	9,650 m ³ /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,479m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市日平均汚水流入量（平成30年度実績）（単位：m³/日）

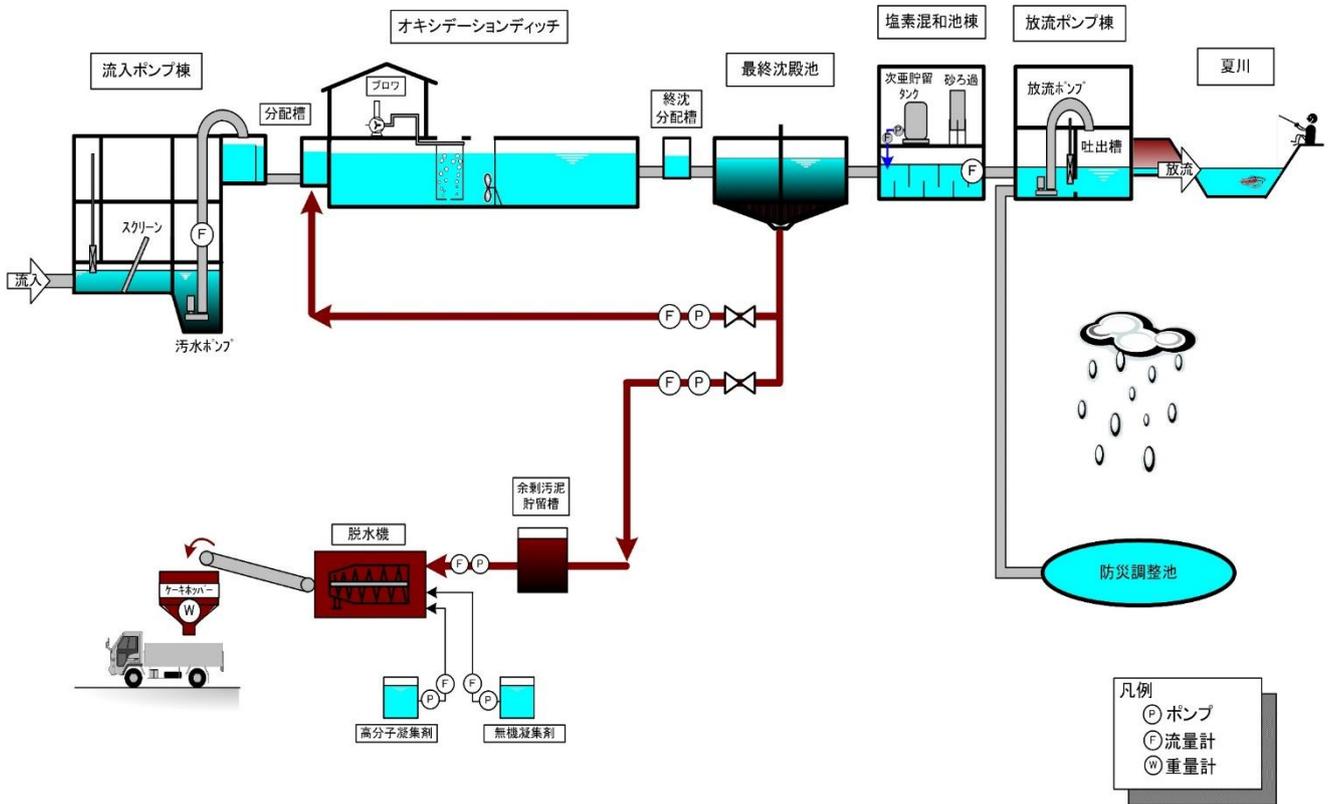
市町村名	汚水量
登米市	859
栗原市	5,725
合計	6,584

● 沿革及び認可関係（平成31年3月31日現在）

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー

処理施設フローシート



② 事業費 (～平成 30 年度末まで)

(単位：千円)

区 分		過 年 度 実 績 額
建 設 改 良 費	国 庫 補 助 金	17,991,751
	起 債	7,323,976
	他 会 計 繰 入 金	936,978
	市 町 分 担 金	8,037,935
	そ の 他	0
	合 計	34,290,640

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m ³
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場	
	若柳第 2 ポンプ場	
	若柳第 3 ポンプ場	
	志波姫ポンプ場	
	一迫ポンプ場	
	金成第 1 ポンプ場	
	金成第 2 ポンプ場	
	栗駒第 1 ポンプ場	
	栗駒第 2 ポンプ場	
	栗駒第 3 ポンプ場	

④ 経営の状況

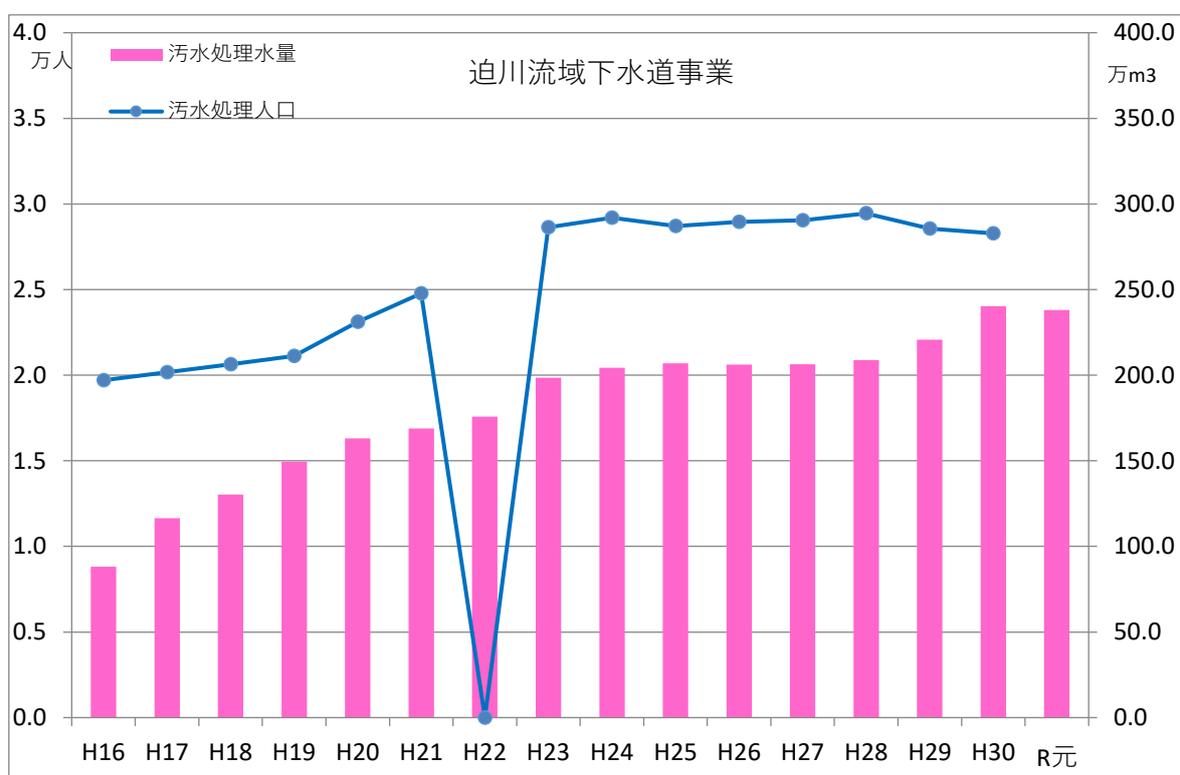
● 処理量等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
A 施設能力 m ³ /日	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処理人口 人	29,446	28,563	28,275	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	2,087,536	2,156,842	2,381,171	2,391,000	2,426,000
D 有収水量 m ³ /年	2,087,536	2,156,842	2,381,171	2,391,000	2,426,000
E 1日平均処理量 m ³	5,720	5,910	6,524	6,550	6,647
F 1日最大処理量 m ³	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管渠費 千円	—	—	—	11,304	7,440
H ポンプ場費 千円	—	—	—	57,278	49,675
I 処理場費 千円	—	—	—	239,971	207,866

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30の管渠費，ポンプ場費，処理場費は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

■ 処理人口及び処理量（有効水量）の推移（各年12月末日現在）



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

※ R元汚水処理人口は集計中

● 料金等

年 度	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
負担金 千円	274,929	284,056	313,600	317,285	321,930
負担金単価 円/m ³	132.7	132.7	132.7	132.7	132.7
汚水処理原価 円/m ³	132.7	132.7	132.7		
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	131.7	131.7	131.7		
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.0	1.0	1.0		

※ 消費税を含む。H28～R元は決算ベース，R2は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い，R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

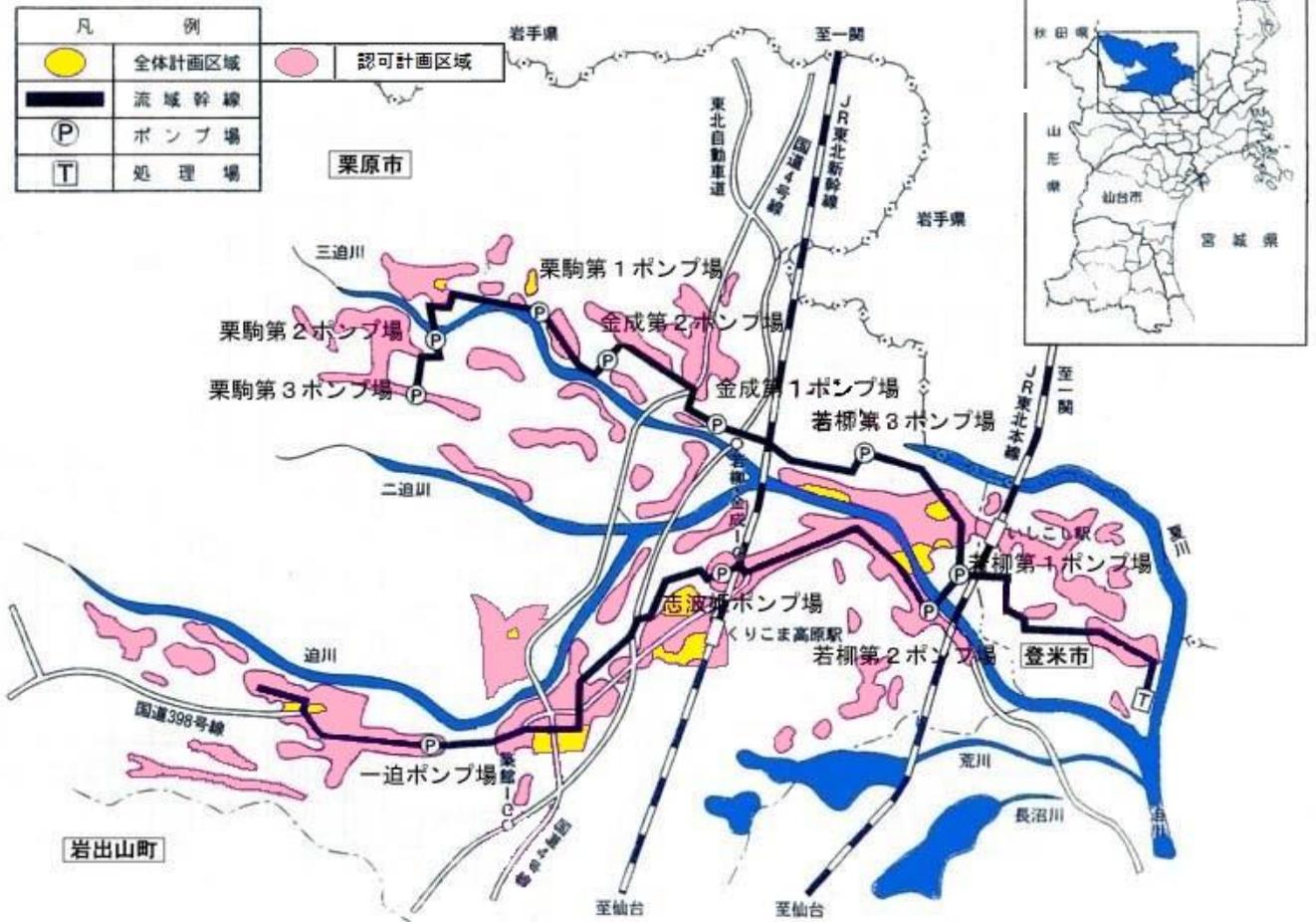
● 収支状況

年 度		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
収 入	営業収益(除受託) 千円	-	-	-	317,285	321,930
	うち料金収入 千円	-	-	-	317,285	321,930
	営業外収益 千円	-	-	-	1,045,886	989,492
	特別収益 千円	-	-	-	0	0
	計 千円	-	-	-	1,363,171	1,311,422
支 出	営業費用 千円	-	-	-	1,199,824	1,112,179
	営業外費用 千円	-	-	-	61,563	67,904
	特別損失 千円	-	-	-	1,768	0
	総費用(除受託) 千円	-	-	-	1,263,346	1,180,383
	計 千円	-	-	-	1,263,346	1,180,383
当年度純利益 千円		-	-	-	99,825	131,039

※ 消費税を含む。R2は当初予算ベースで作成。

※ H28～H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

凡 例	
	全体計画区域
	流域幹線
(P)	ポンプ場
(T)	処理場





宮城県企業局